

三芳町立小中学校適正規模適正配置報告書

～ 資 料 ～

～目 次～

1 学校の適正規模・適正配置に関するアンケート結果について	1
(1) アンケートの実施方法等について	5
(2) アンケートの集計結果について (小学校)	6
(3) アンケートの集計結果について (中学校)	24
(4) アンケートの集計結果について (児童生徒)	43
(5) アンケートの集計結果について (設問5：自由記述)	49
2 三芳町児童生徒数等の推移	54
(1) 児童生徒数の推移	54
(2) 入学年度別児童数	
(3) 学校別児童該当年齢人口の推移	55
(4) 学校別生徒該当年齢人口の推移	
(5) 各拠点の年少人口の推移(グラフ)	56
(6) 児童生徒数・学級数・教員定数の推計グラフ	57
(令和4年10月1日現在)	
3 適正規模適正配置に関する法令等	61
4 三芳町公共施設マネジメント基本計画(令和3年3月)抜粋	63

学校の適正規模・適正配置に関する アンケート調査結果

令和4年10月

三芳町小中学校適正規模適正配置検討委員会

～ 目 次 ～

1 アンケートの実施方法等について

(1)対象者について	1
(2)実施時期について	
(3)調査方法について	
(4)アンケート内容について	
(5)回答数(回答率)について	

2 アンケートの集計結果について(小学校)

・(基本情報について)	2
・設問1 学校における教育環境について	4
・設問2 学校の学級数・学級人数(適正規模)について	6
・設問3 児童生徒数・学級数の減少による影響について	8
・設問4 通学距離・通学時間(適正配置)について	16

3 アンケートの集計結果について(中学校)

・(基本情報について)	20
・設問1 学校における教育環境について	22
・設問2 学校の学級数・学級人数(適正規模)について	24
・設問3 児童生徒数・学級数の減少による影響について	26
・設問4 通学距離・通学時間(適正配置)について	34

4 アンケートの集計結果について(児童生徒)

・(基本情報について)	39
・設問1 学校のクラス数・クラスの人数について	40
・設問2 通学時間について	42

5 アンケートの集計結果について(設問5:自由記述)

45

1 アンケートの実施方法等について

(1)対象者について

ア 町内小中学校全学年児童生徒保護者	約2,450名
イ 町内在住小中学校学校運営協議会委員	約 60名
ウ 町内小中学校県費負担教職員	約 180名
エ 町内小学校3学年児童	約 280名
オ 町内小学校6学年児童	約 350名
カ 町内中学校3学年生徒	約 350名

(2)実施時期について

- ・ 調査時期 令和4年7月15日(金)～8月7日(日)

(3)調査方法について

- ・ Google Formsを活用したオンライン回答
(調査依頼・内容は紙面にて各学校を通して配付)

(4)アンケート内容について

- ア 教職員、小中学校保護者、学校運営協議会委員用
(基本情報について)
 - 設問1 学校における教育環境について
 - 設問2 学校の学級数・学級人数(適正規模)について
 - 設問3 児童生徒数・学級数の減少による影響について
 - 設問4 通学距離・通学時間(適正配置)について
 - 設問5 ご意見について(自由記述)
- イ 児童生徒用
(基本情報について)
 - 設問1 学校のクラス数・クラスの人数について
 - 設問2 通学時間について

(5)回答数(回答率)について

ア 町内小中学校全学年児童生徒保護者	1,473名(約60%)
イ 町内在住小中学校学校運営協議会委員	33名(約53%)
ウ 町内小中学校県費負担教職員	125名(約69%)
エ 町内小学校3学年児童	277名(約99%)
オ 町内小学校6学年児童	321名(約92%)
カ 町内中学校3学年生徒	302名(約86%)

2 アンケートの集計結果について(小学校)

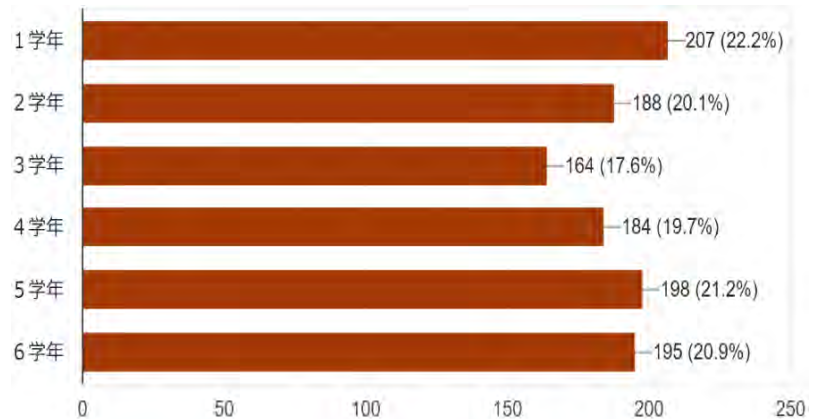
(基本情報について)

(1)保護者アンケート基本情報について

○お子さんの学年を教えてください

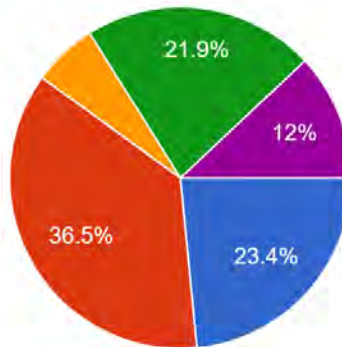
(兄弟姉妹がいる場合は複数チェックをお願いします)

学年	人数(人)
1学年	207
2学年	188
3学年	164
4学年	184
5学年	198
6学年	195
計	1,136



○お住まいの小学区を教えてください

学校	人数(人)
三芳小	219
藤久保小	341
上富小	57
唐沢小	205
竹間沢小	112
計	934

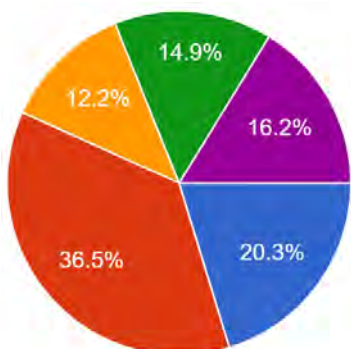


- 三芳小学校
- 藤久保小学校
- 上富小学校
- 唐沢小学校
- 竹間沢小学校

(2)教職員アンケート基本情報について

○勤務している学校を教えてください

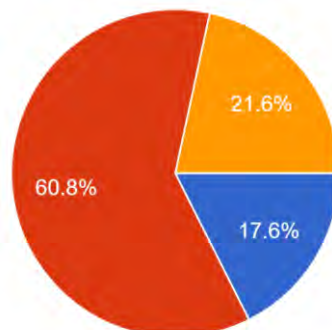
学校	人数(人)
三芳小	15
藤久保小	27
上富小	9
唐沢小	12
竹間沢小	11
計	74



- 三芳小学校
- 藤久保小学校
- 上富小学校
- 唐沢小学校
- 竹間沢小学校

○あなたの職を教えてください

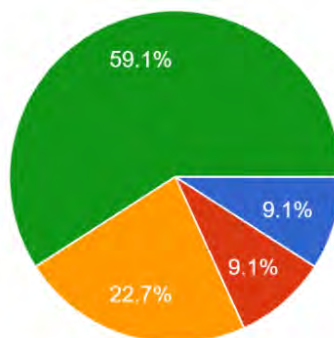
学校	人数(人)
校長・教頭・主幹教諭	13
学級担任	45
学級担任外・養護教諭 栄養教諭・事務職員	16
計	74



- 校長・教頭・主幹教諭
- 学級担任
- 学級担任外・養護教諭・栄養教諭・事務

○通常学級を担任している方は学級の児童数を教えてください。

児童数	人数(人)
1人～10人	4
11人～20人	4
21人～30人	10
31人～40人	26
計	44

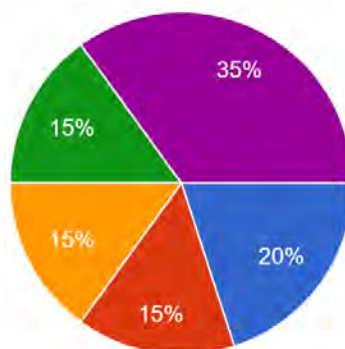


- 1人～10人
- 11人～20人
- 21人～30人
- 31人～40人

(3)学校運営協議会委員アンケート基本情報について

○該当の学校を教えてください

学校	人数(人)
三芳小	4
藤久保小	3
上富小	3
唐沢小	3
竹間沢小	7
計	20



- 三芳小学校
- 藤久保小学校
- 上富小学校
- 唐沢小学校
- 竹間沢小学校

設問1 学校における教育環境について

(1)子どもたちにとって、**小学校の教育環境**で大事なものはどのようなものであるとお考えですか。特に大事だと思われるものを次のア～サから**3つまで**を選んでください。

【選択肢】

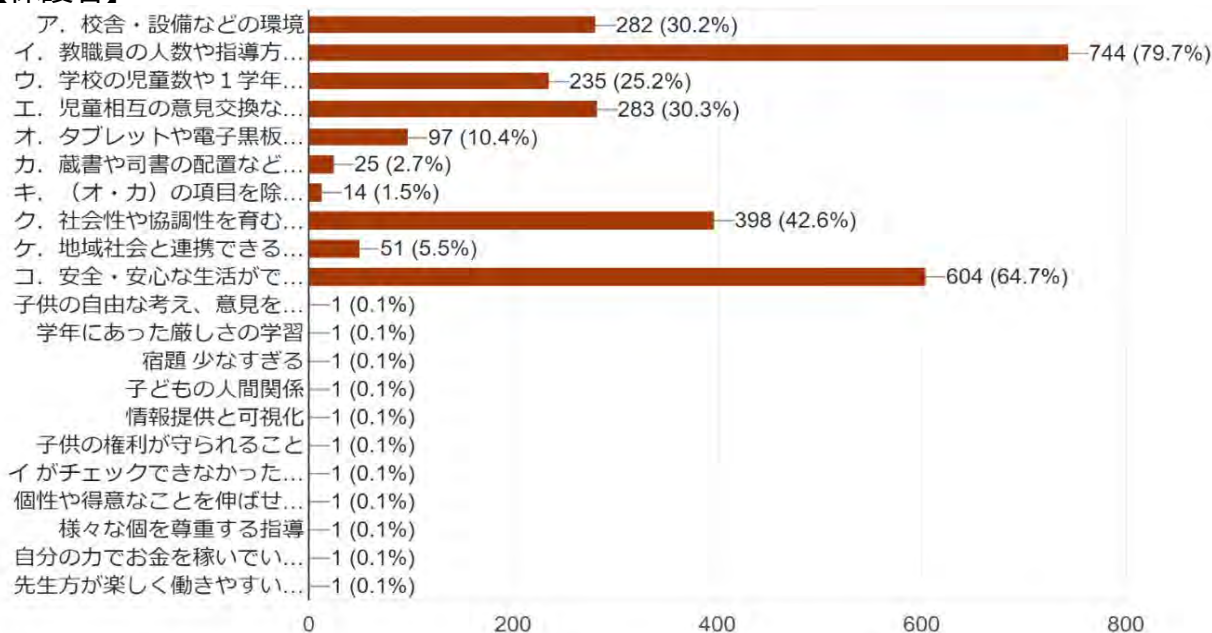
ア 校舎・設備などの環境
イ 教職員の人数や指導方法などの環境
ウ 学校の児童数や1学年あたりの学級数、1学級あたりの人数による環境
エ 児童相互の意見交換など関わりが多く、切磋琢磨しあえる環境
オ タブレットや電子黒板など、情報教育に関わる環境
カ 蔵書や司書の配置など学校図書に関わる環境
キ (オ・カ)の項目を除く教材教具などの環境
ク 社会性や協調性を育む環境
ケ 地域社会と連携できる地域の環境
コ 安全・安心な生活ができる学校・学級の環境
サ その他

【集計結果】

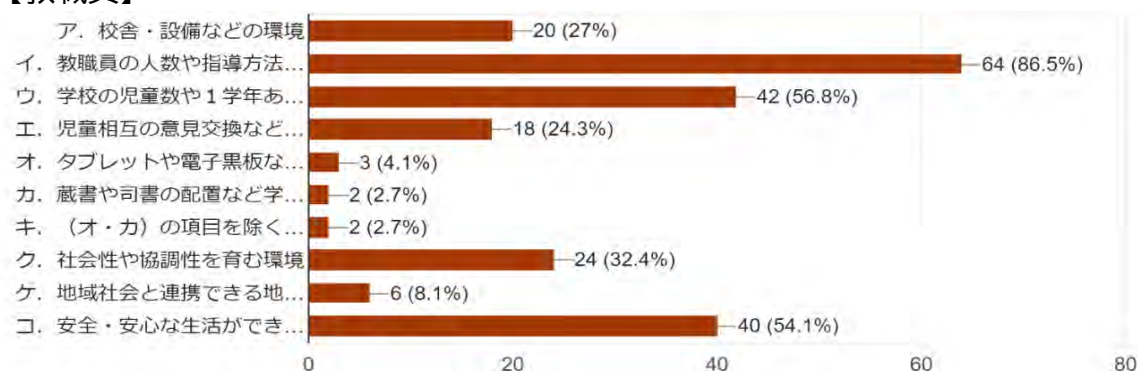
(単位 左:人 右:%)

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人	%	人	%	人	%
ア	282	30.2	20	27.0	3	15.0
イ	744	79.7	64	86.5	14	70.0
ウ	235	25.2	42	56.8	6	30.0
エ	283	30.3	18	24.3	7	35.0
オ	97	10.4	3	4.1	4	20.0
カ	25	2.7	2	2.7	1	5.0
キ	14	1.5	2	2.7	0	0.0
ク	398	42.6	24	32.4	6	30.0
ケ	51	5.5	6	8.1	2	10.0
コ	604	64.7	40	54.1	14	70.0
サ	11	1.1	0	0.0	1	5.0
合計	2,744		221		58	

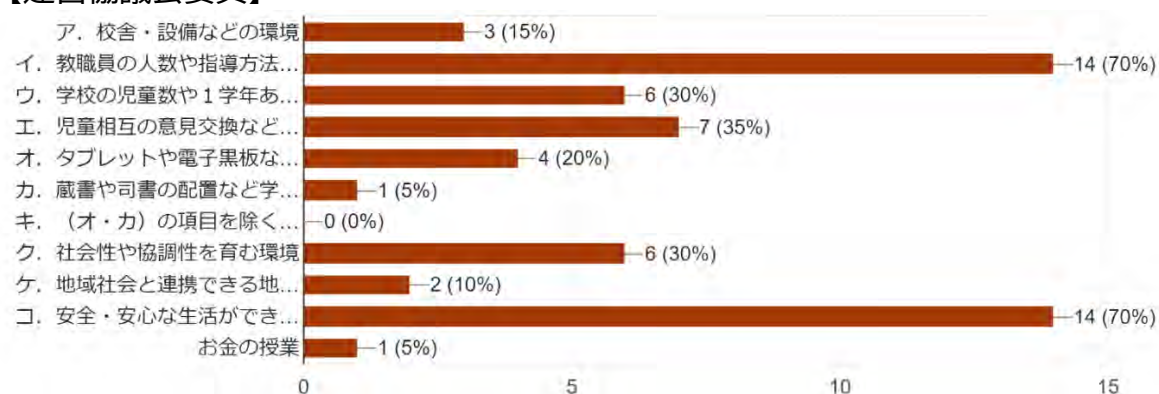
【保護者】



【教職員】



【運営協議会委員】



【概要】

「イ 教職員の人数や指導方法などの環境」が三者とも特に高い回答率である。次いで、「コ 安全・安心な生活ができる学校・学級の環境」が高く、また、「ウ」、「エ」、「ク」についても比較的高い傾向にある。

中学校アンケートの傾向も同様である。

設問2 学校の学級数・学級人数(適正規模)について

(1)小学校の学級数は、法令(※)では1学年あたり2～3学級(1学校あたり12～18学級)を標準としていますが、小学校教育を進めるうえでもっとも適切だと考える「1学年あたりの通常学級数」について、次のア～オから1つ選んでください。

(※)学校教育法施行規則

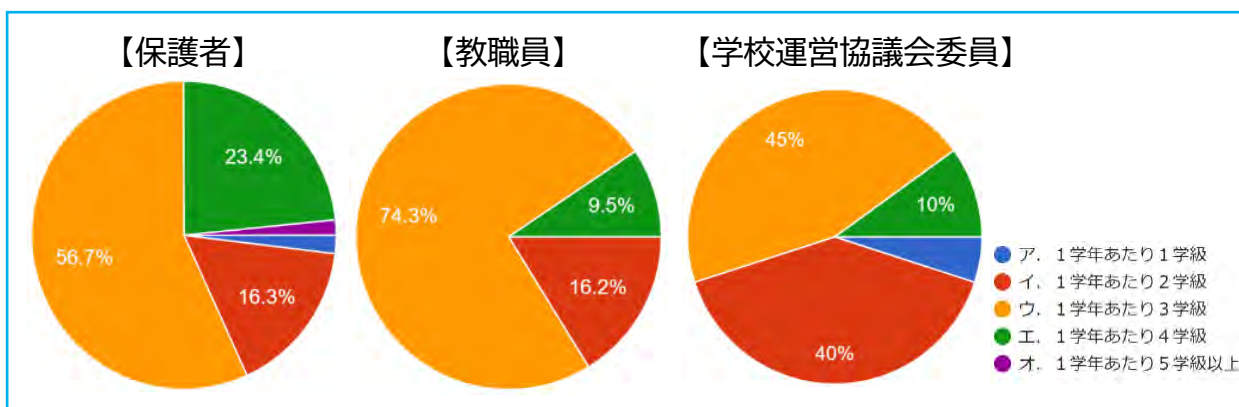
【選択肢】

ア 1学年あたり1学級	エ 1学年あたり4学級
イ 1学年あたり2学級	オ 1学年あたり5学級以上
ウ 1学年あたり3学級	

【集計結果】

(単位 左:人 右:%)

	保護者		教職員		運営協議会委員	
ア	18	1.9	0	0.0	1	5.0
イ	152	16.3	12	16.2	8	40.0
ウ	530	56.7	55	74.3	9	45.0
エ	219	23.4	7	9.5	2	10.0
オ	15	1.6	0	0.0	0	0.0
合計	934	100.0	74	100.0	20	100.0



【概要】

「ウ 1学年あたり3学級」が、三者とももっとも適切であるという回答が多い。次いで、保護者は「エ 1学年あたり4学級」、教職員、学校運営協議会委員は「1学年あたり2学級」が適切であるとの回答が多い。三者とも「2学級から4学級」に回答が集中している。

「ア」、「オ」については保護者の回答に少数ある。

(2)小学校の児童数は、法令(※)では1学級40人(1～3年生は35人)を基準としていますが、小学校教育を進めるうえでもっとも適切だと考える「1学級あたりの児童数」について、次のア～オから1つ選んでください。

(※)公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律
小学校設置基準(文部科学省令)

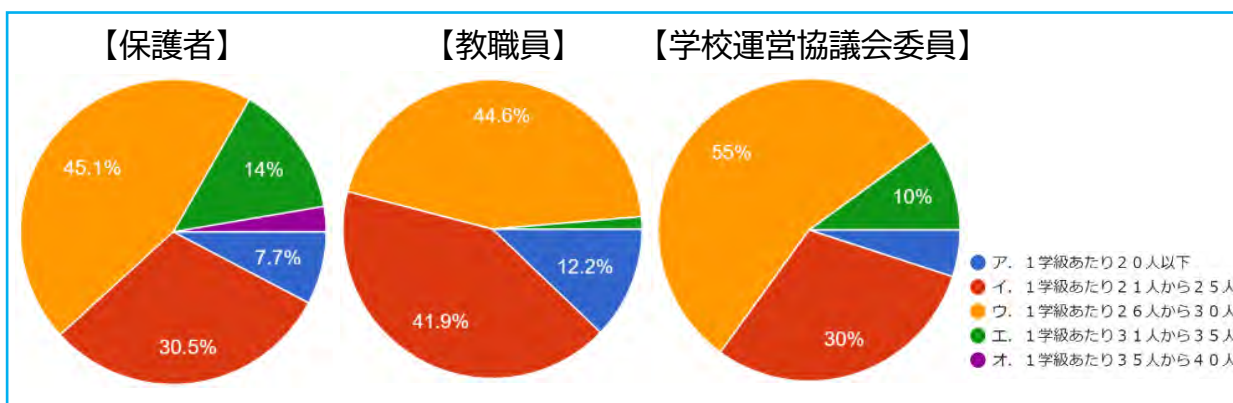
【選択肢】

ア 1学級あたり20人以下	エ 1学級あたり31人から35人
イ 1学級あたり21人から25人	オ 1学級あたり35人から40人
ウ 1学級あたり26人から30人	

【集計結果】

(単位 左:人 右:%)

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人	%	人	%	人	%
ア	72	7.7	9	12.2	1	5.0
イ	285	30.5	31	41.9	6	30.0
ウ	421	45.1	33	44.6	11	55.0
エ	131	14.0	1	1.3	2	10.0
オ	25	2.7	0	0.0	0	0.0
合計	934	100.0	74	100.0	20	100.0



【概要】

「ウ 1学級あたり26人～30人」が、三者とももっとも適切であるという回答が多い。次いで、「イ 1学級あたり21人～25人」が多い。また、保護者は「エ 1学級あたり31人～35人」の回答も多い。

中学校アンケートと比較すると、全体的に1学級当たりの人数を少なく回答している傾向にある。

設問3 児童生徒数・学級数の減少による影響について

(1)少子化に伴い、三芳町でも今後、児童生徒数、それに伴う学級数の減少が見込まれています。三芳町では、これらの減少による影響として、以下のア～シを想定しています。あなたは、以下のア～シの影響についてどのようにお考えですか。当てはまる欄を1つ選んでください。

【集計結果】

ア 仲間同士による意見交換などを通じた、多様な見方や考え方に触れる機会が少なくなる
(単位 左:人 右:%)

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人	%	人	%	人	%
そう思う	203	21.8	17	23.0	8	40.0
やや思う	339	36.3	26	35.1	9	45.0
どちらともいえない	216	23.1	11	14.9	1	5.0
やや思わない	117	12.5	16	21.6	1	5.0
そう思わない	59	6.3	4	5.4	1	5.0

【概要】

三者とも「やや思う」の回答が一番多く、次いで「そう思う」の回答が多い。教職員は「やや思わない」の回答も多い。
中学校アンケートの傾向と大きな差はない。

イ 教師の目が行き届きやすく、きめ細やかな指導が行いやすくなる

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人	%	人	%	人	%
そう思う	434	46.4	38	51.4	8	40.0
やや思う	351	37.6	23	31.1	10	50.0
どちらともいえない	116	12.4	11	14.9	2	10.0
やや思わない	24	2.6	1	1.3	0	0.0
そう思わない	9	1.0	1	1.3	0	0.0

【概要】

三者とも「そう思う」「やや思う」の回答が多数を占めている。
中学校アンケートと比較すると「やや思う」より、「そう思う」の回答が多い傾向にある。

ウ クラス替えなどを通して、人間関係に変化を持たせることが難しくなる

	保護者		教職員		運営協議会委員	
そう思う	368	39.4	36	48.6	8	40.0
やや思う	315	33.7	27	36.5	9	45.0
どちらともいえない	162	17.3	7	9.5	1	5.0
やや思わない	65	7.0	4	5.4	2	10.0
そう思わない	24	2.6	0	0.0	0	0.0

【概要】

三者とも「そう思う」、「やや思う」が多数を占めている。
 中学校アンケートの傾向とも大きな差はない。

エ 学級数の減少により先生の数も減るため、チームティーチングや習熟度別学習などのきめ細やかな学習指導が難しくなる

	保護者		教職員		運営協議会委員	
そう思う	221	23.6	28	37.9	6	30.0
やや思う	333	35.6	24	32.4	7	35.0
どちらともいえない	276	29.9	12	16.2	6	30.0
やや思わない	75	7.9	9	12.2	0	0.0
そう思わない	29	3.0	1	1.3	1	5.0

【概要】

三者とも同様の傾向が見られるが、実際に学習指導を行っている教職員については、「そう思う」「やや思う」の回答率が高い傾向にある。
 中学校アンケートの傾向とも大きな差はない。

オ 体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じる

	保護者		教職員		運営協議会委員	
そう思う	254	27.2	18	24.3	7	35.0
やや思う	364	39.0	30	40.6	5	25.0
どちらともいえない	186	19.9	14	18.9	6	30.0
やや思わない	98	10.5	8	10.8	2	10.0
そう思わない	32	3.4	4	5.4	0	0

【概要】

三者とも「やや思う」、「そう思う」が多数を占めている。
 中学校アンケートと比較すると、教職員は「そう思う」より「やや思う」の回答が多い。

カ 運動会や音楽会など、学校行事の盛り上がり欠ける

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	278	29.8	9	12.2	6	30.0
やや思う	262	28.0	23	31.1	5	25.0
どちらともいえない	208	22.3	23	31.1	6	30.0
やや思わない	106	11.3	5	6.8	2	10.0
そう思わない	80	8.6	14	18.9	1	5.0

【概要】

保護者、運営協議会委員と比較すると教職員の回答にばらつきが見られる。

小学校アンケートと比較すると、中学校教職員は「そう思わない」の回答はないが、小学校教職員は「そう思わない」の回答が多い。

キ 学校施設や教具が利用しやすくなる

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	275	29.4	28	37.8	5	25.0
やや思う	406	43.4	30	40.5	7	35.0
どちらともいえない	207	22.2	11	14.9	6	30.0
やや思わない	36	3.9	5	6.8	2	10.0
そう思わない	10	1.1	0	0.0	0	0.0

【概要】

三者とも「やや思う」、「そう思う」が多数を占めている。

中学校アンケートの傾向とも大きな差はない。

ク クラブ活動の選択の幅が狭くなる

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	314	33.6	16	21.6	4	20.0
やや思う	344	36.8	41	55.4	11	55.0
どちらともいえない	195	20.9	12	16.2	4	20.0
やや思わない	64	6.9	5	6.8	1	5.0
そう思わない	17	1.8	0	0.0	0	0.0

【概要】

三者とも「やや思う」、「そう思う」が多数を占めている。

中学校アンケート「ク 部活動の選択の幅が狭くなる」より「そう思う」の回答率が低い傾向にある。

ケ 進学の際に大きな集団への適応に困難を来す可能性がある

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	132	14.1	16	21.6	4	20.0
やや思う	285	30.5	26	35.1	7	35.0
どちらともいえない	306	32.8	22	29.7	6	30.0
やや思わない	150	16.1	6	8.1	2	10.0
そう思わない	61	6.5	4	5.4	1	5.0

【概要】

三者とも「やや思う」、「どちらともいえない」が多数を占めている。
 中学校アンケートと比較すると「そう思う」、「やや思う」の回答率が低い傾向にある。

コ 学級数の減少により先生の数も減るため、先生の役割や負担が増加する

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	218	23.4	37	50.0	8	40.0
やや思う	344	36.8	25	33.8	6	30.0
どちらともいえない	291	31.2	7	9.5	5	25.0
やや思わない	61	6.5	5	6.7	0	0.0
そう思わない	20	2.1	0	0.0	1	5.0

【概要】

三者とも同様の傾向が見られるが、実際に職務にあたっている教職員については、「そう思う」の回答率が高い傾向にある。

中学校アンケートと比較すると、全体的に「そう思う」、「やや思う」の回答率が低い傾向にある。

サ PTA 活動や地域の子ども会などの活動において、保護者の役割・負担が増加する

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	289	30.9	13	17.6	5	25.0
やや思う	307	32.9	25	33.8	6	30.0
どちらともいえない	248	26.6	24	32.4	5	25.0
やや思わない	64	6.8	9	12.2	3	15.0
そう思わない	26	2.8	3	4.0	1	5.0

【概要】

三者とも「やや思う」の回答が高い傾向が見られるが、保護者については、「そう思う」の回答率も高い傾向にある。

中学校アンケートの傾向とも大きな差は見られない。

シ 保護者同士の交流機会が減少し、子育ての意見交換や情報を得ることが難しくなる

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	74	7.9	7	9.5	4	20.0
やや思う	203	21.7	19	25.6	3	15.0
どちらともいえない	392	42.0	28	37.8	10	50.0
やや思わない	157	16.8	11	14.9	2	10.0
そう思わない	108	11.6	9	12.2	1	5.0

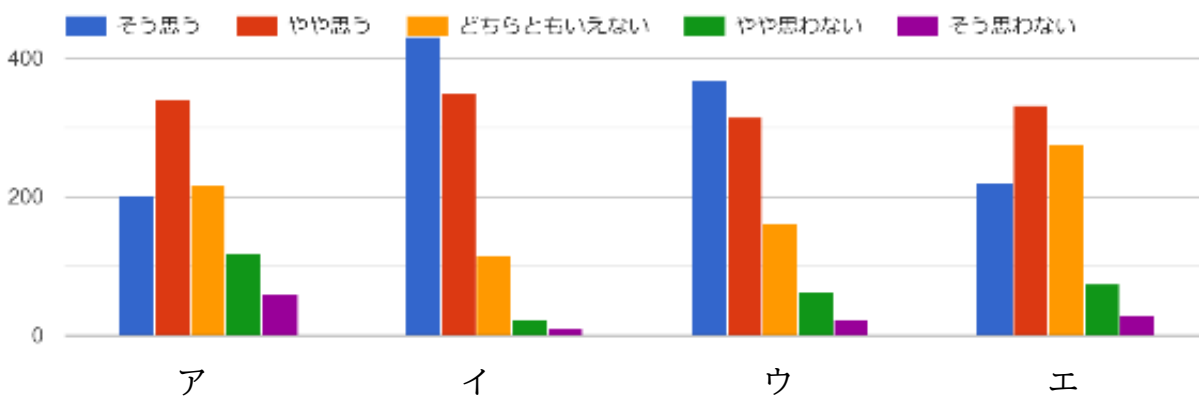
【概要】

三者とも「どちらともいえない」の回答率が高い。また、「やや思わない」の回答率も比較的高い傾向にある。

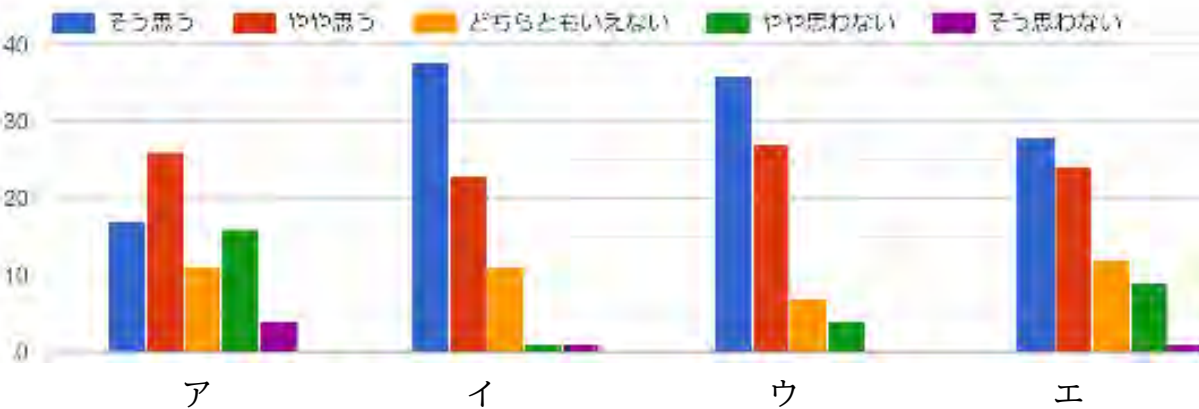
中学校アンケートと比較すると教職員は「そう思う」、「やや思う」の回答率が低い傾向にある。

【参考:グラフ】

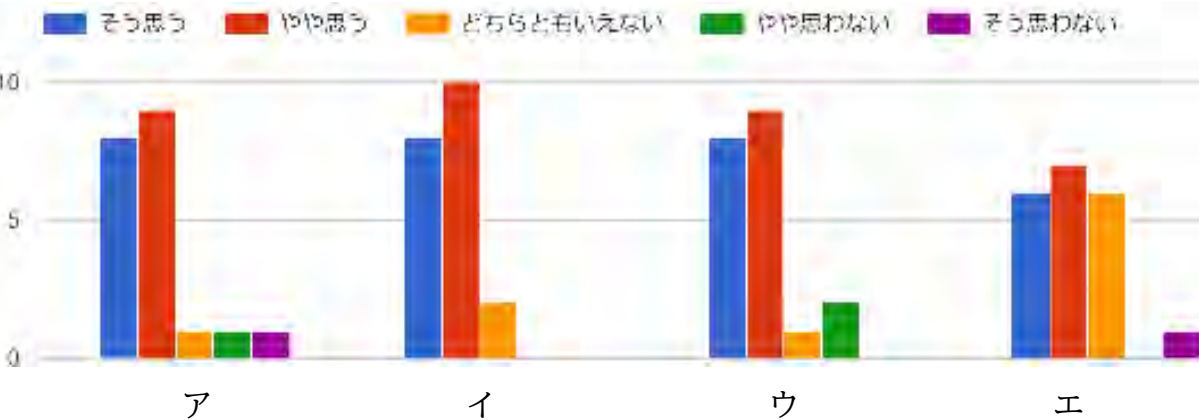
【保護者:ア～エ】



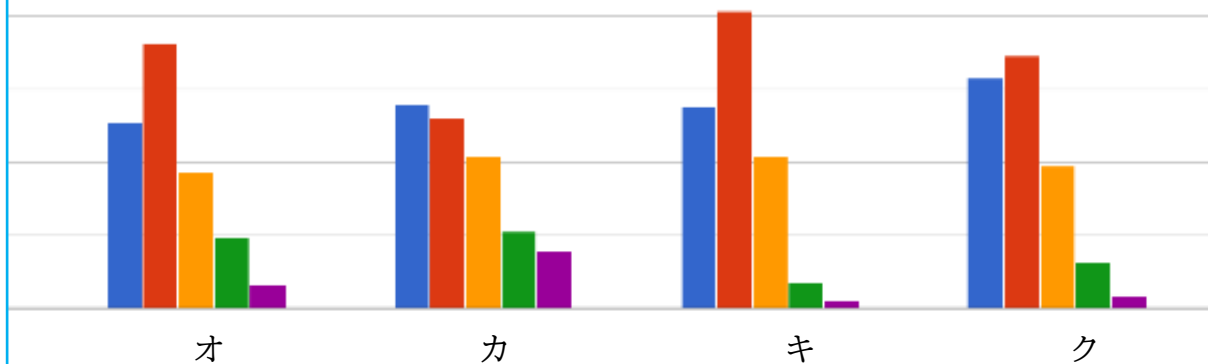
【教職員:ア～エ】



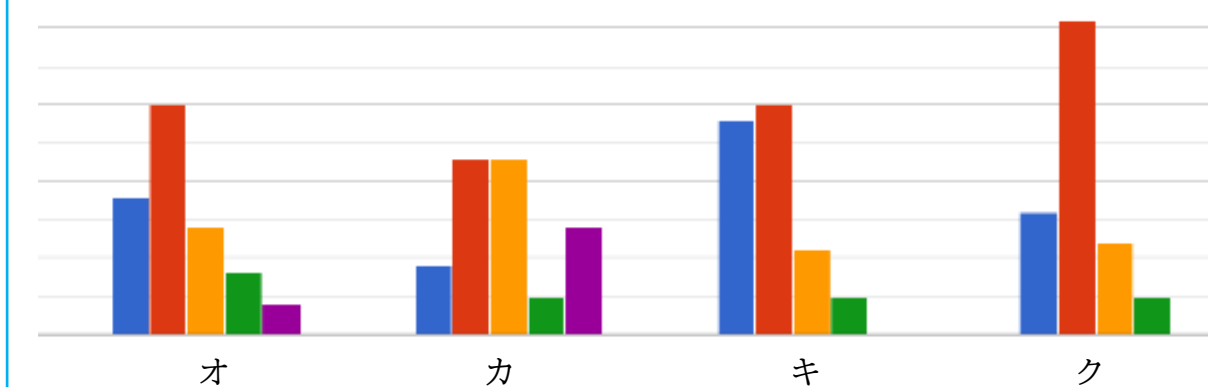
【学校運営協議会委員:ア～エ】



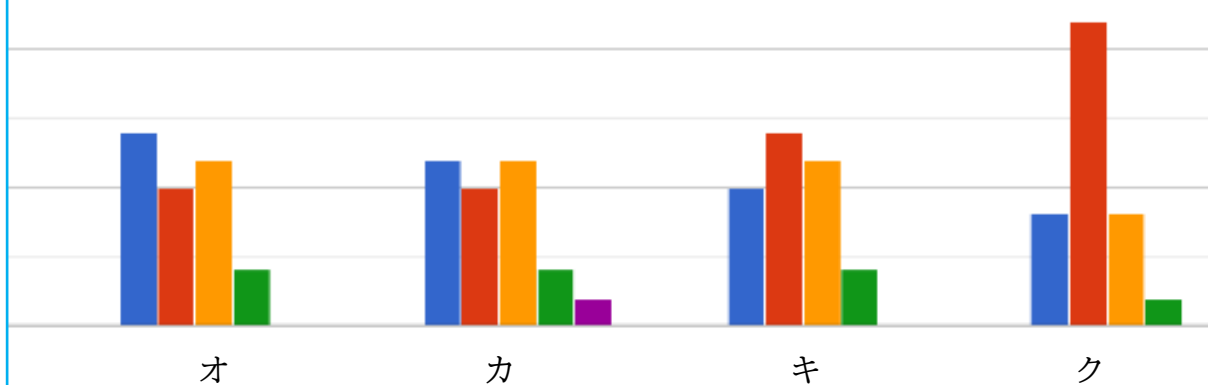
【保護者:オ～ク】



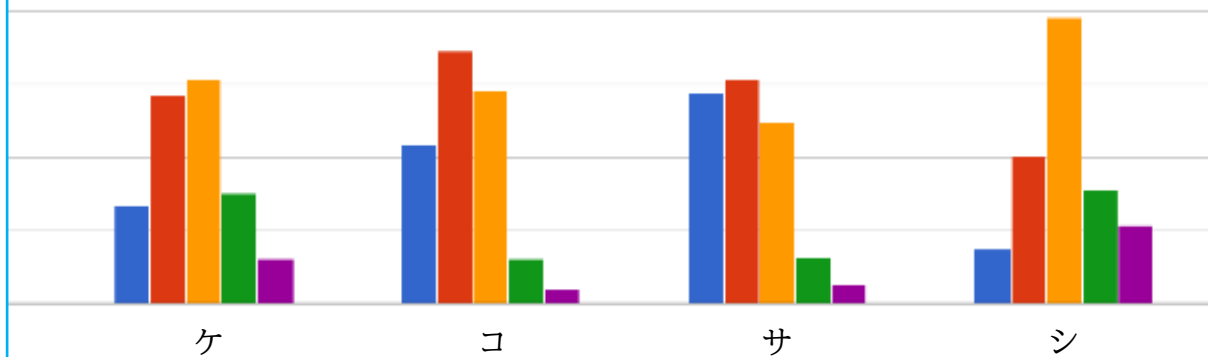
【教職員:オ～ク】



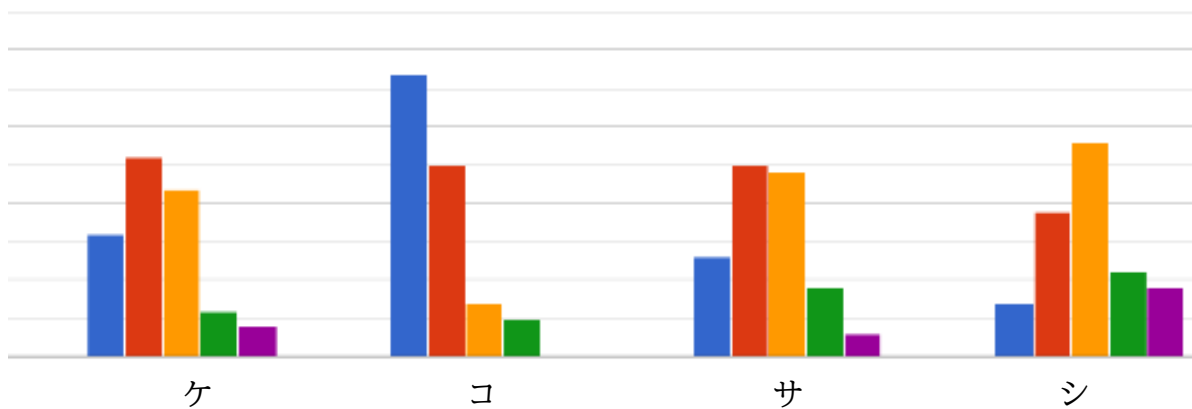
【学校運営協議会委員:オ～ク】



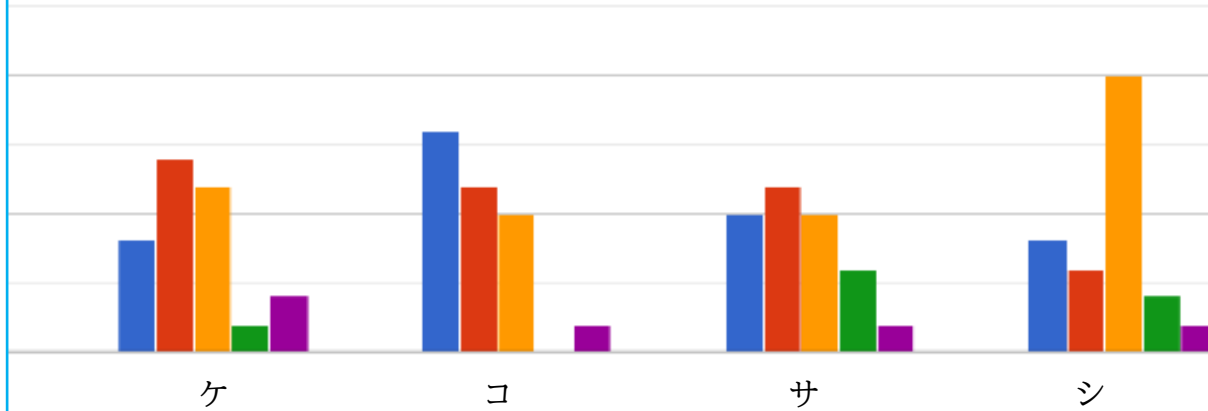
【保護者:ケ～シ】



【教職員:ケ～シ】



【学校運営協議会委員:ケ～シ】



設問4 通学距離・通学時間(適正配置)について

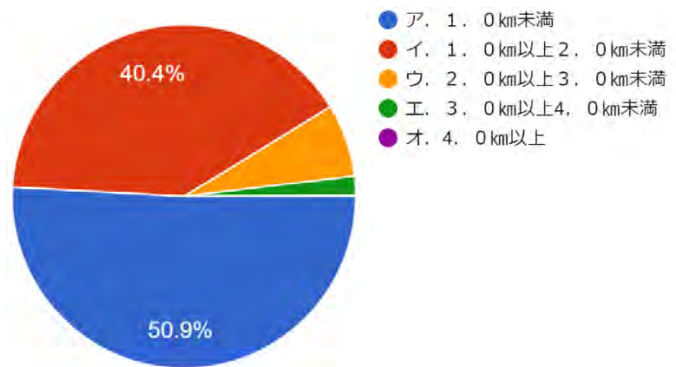
(1)お子さんの通学距離はおよそどのくらいの距離がありますか。次のア～オから1つ選んでください。

【選択肢】

ア	1.0km未満
イ	1.0km以上2.0km未満
ウ	2.0km以上3.0km未満
エ	3.0km以上4.0km未満
オ	4km以上

【集計結果】(単位 左:人 右:%)

	保護者	
ア	475	50.9
イ	377	40.4
ウ	64	6.9
エ	17	1.8
オ	1	0.1
合計	934	100.0



【概要】

「ア 1.0km未満」の回答がもっとも多い。
通学距離が「2.0km未満」の児童は90%程度である。

(2)小学校の通学距離は、法令(※)ではおおむね4km以内としていますが、**徒歩で通学する場合**、どのくらいの距離までが通学可能と考えられますか。次のア～オから**1つ**選んでください。

(※)義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令

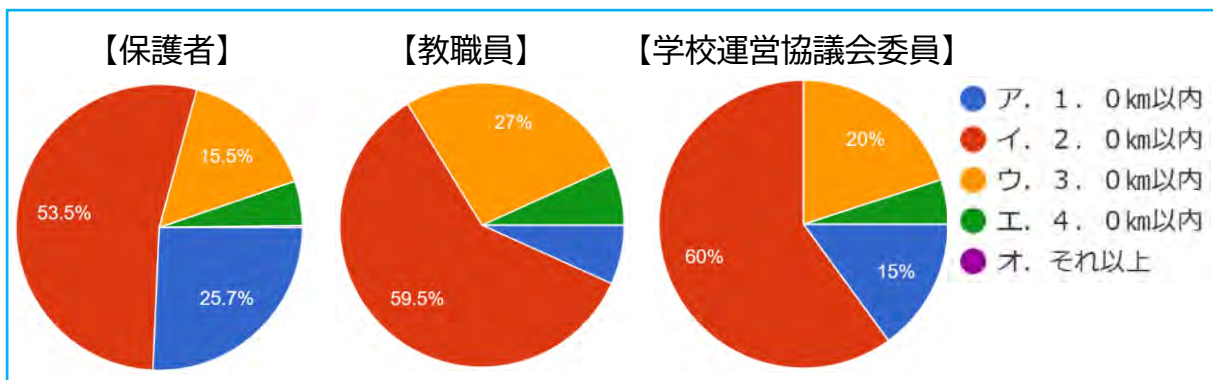
【選択肢】

ア 1.0km以内	エ 4.0km以内
イ 2.0km以内	オ それ以上
ウ 3.0km以内	

【集計結果】

(単位 左:人 右:%)

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人	%	人	%	人	%
ア	240	25.7	5	6.8	3	15.0
イ	500	53.5	44	59.5	12	60.0
ウ	145	15.5	20	27.0	4	20.0
エ	47	5.0	5	6.8	1	5.0
オ	2	0.3	0	0.0	0	0.0
合計	934	100.0	74	100.0	20	100.0



【概要】

三者とも「イ 2.0 km以内」の回答が最も多く、3km以内までの回答が95%近くを占めている。保護者は「ア 1km以内」の回答率も高く、通学距離をなるべく短くしたい傾向がある。保護者の傾向は中学校アンケートでも同様である。

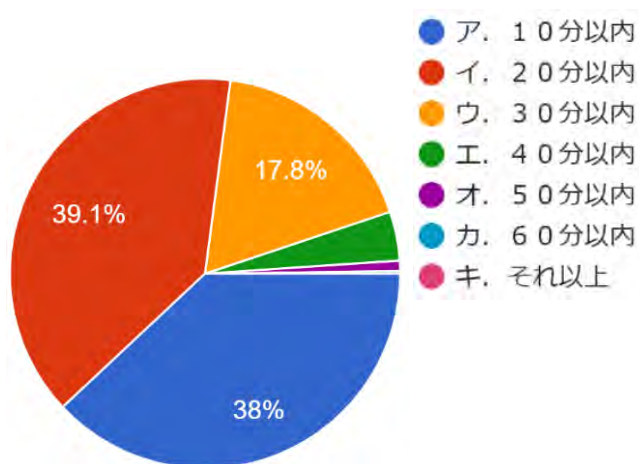
(3)お子さんの通学時間はおよそどのくらい時間がかかりますか。次のア～キから1つを選んでください。

【選択肢】

ア 10分以内
イ 20分以内
ウ 30分以内
エ 40分以内
オ 50分以内
カ 60分以内
キ それ以上

【集計結果】（単位 左:人 右:%）

	保護者	
ア	355	38.0
イ	365	39.1
ウ	166	17.8
エ	38	4.1
オ	8	0.8
カ	2	0.2
キ	0	0.0
合計	934	100.0



【概要】

「イ 20分以内」の回答が多いが、「ア 10分以内」の回答もほぼ同じである。
通学時間が「30分以内」の児童は95%程度である。
中学校アンケートと比較すると「ア 10分以内」の回答が多い。

(4) 小学校の通学時間は、法令(※)ではおおむね60分以内とされていますが、徒歩で通学する場合、どのくらいの時間までが通学可能と考えられますか。次のア～キから1つ選んでください。

(※)義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令

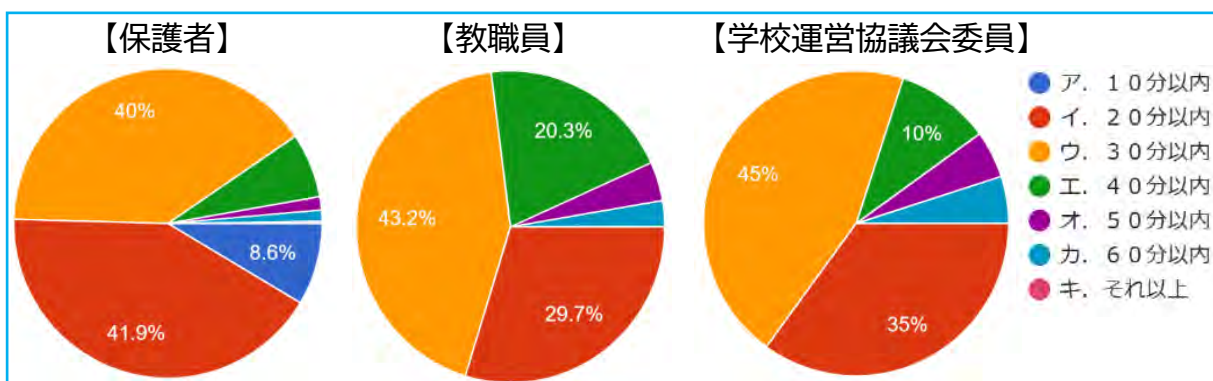
【選択肢】

ア 10分以内	オ 50分以内
イ 20分以内	カ 60分以内
ウ 30分以内	キ それ以上
エ 40分以内	

【集計結果】

(単位 左:人 右:%)

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人	%	人	%	人	%
ア	80	8.6	0	0.0	0	0.0
イ	391	41.9	22	29.7	7	35.0
ウ	374	40.0	32	43.2	9	45.0
エ	63	6.7	15	20.3	2	10.0
オ	13	1.4	3	4.1	1	5.0
カ	11	1.2	2	2.7	1	5.0
キ	2	0.2	0	0.0	0	0.0
合計	934	100.0	74	100.0	20	100.0



【概要】

教職員、運営協議会委員と比べて、保護者は「30分以内」までの回答率がより高く、通学距離同様、通学時間もなるべく短くしたい傾向が見られる。

中学校アンケートと比較すると、通学可能時間は短い傾向にある。

3 アンケートの集計結果について(中学校)

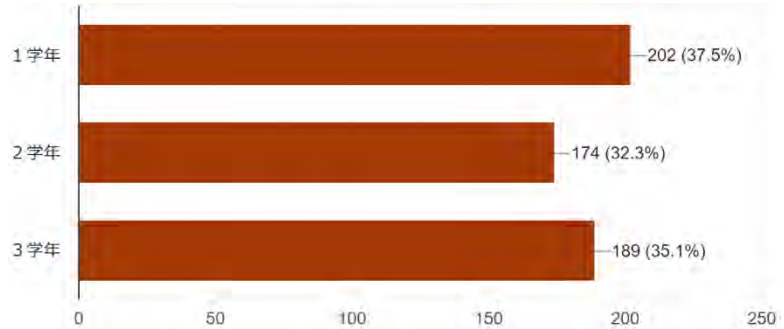
(基本情報について)

(1)保護者アンケート基本情報について

○お子さんの学年を教えてください

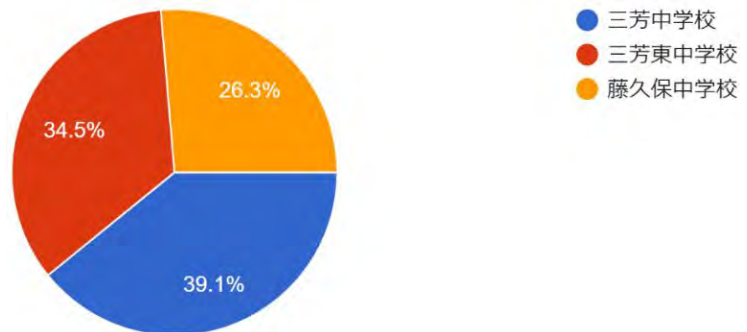
(兄弟姉妹がいる場合は複数チェックをお願いします)

学 年	人 数(人)
1 学年	202
2 学年	174
3 学年	189
計	565



○お住まいの中学校区を教えてください

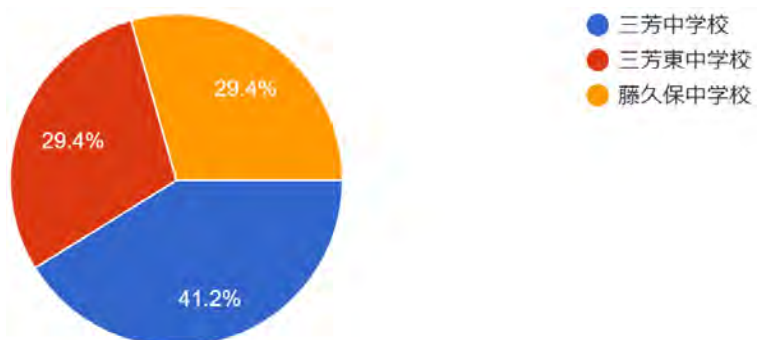
学 校	人 数(人)
三 芳 中	211
三芳東中	186
藤久保中	142
計	539



(2)教職員アンケート基本情報について

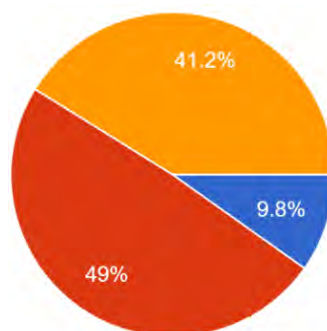
○勤務している学校を教えてください

学 校	人 数(人)
三 芳 中	21
三芳東中	15
藤久保中	15
計	51



○あなたの職を教えてください

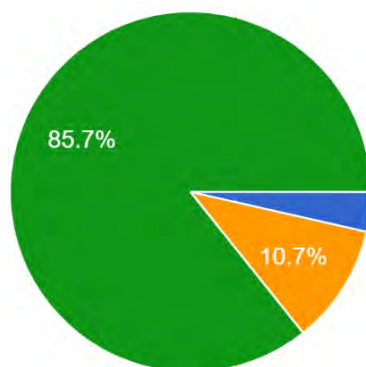
学校	人数(人)
校長・教頭・主幹教諭	5
学級担任	25
学級担任外・養護教諭 栄養教諭・事務職員	21
計	51



- 校長・教頭・主幹教諭
- 学級担任
- 学級担任外・養護教諭・栄養教諭・事務

○通常学級を担任している方は学級の生徒数を教えてください。

児童数	人数(人)
1人～10人	1
11人～20人	0
21人～30人	3
31人～40人	24
計	28

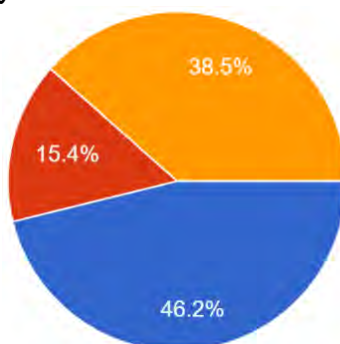


- 1人～10人
- 11人～20人
- 21人～30人
- 31人～40人

(3)学校運営協議会委員アンケート基本情報について

○該当の学校を教えてください

学校	人数(人)
三芳中	6
三芳東中	2
藤久保中	5
計	13



- 三芳中学校
- 三芳東中学校
- 藤久保中学校

設問1 学校における教育環境について

(1)子どもたちにとって、**中学校の教育環境**で大事なものはどのようなものとお考えですか。特に大事だと思われるものを次のア～シから**3つまで**選んでください。

【選択肢】

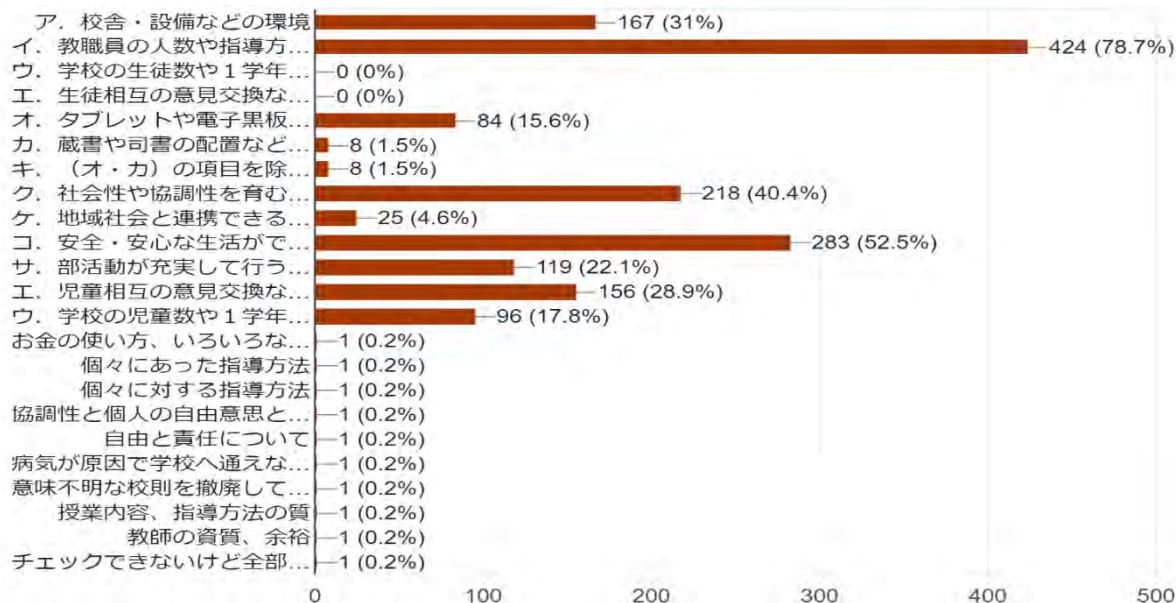
ア	校舎・設備などの環境
イ	教職員の人数や指導方法などの環境
ウ	学校の生徒数や1学年あたりの学級数、1学級あたりの人数による環境
エ	生徒相互の意見交換など関わりが多く、切磋琢磨しあえる環境
オ	タブレットや電子黒板など、情報教育に関わる環境
カ	蔵書や司書の配置など学校図書に関わる環境
キ	(オ・カ)の項目を除く教材教具などの環境
ク	社会性や協調性を育む環境
ケ	地域社会と連携できる地域の環境
コ	安全・安心な生活ができる学校・学級の環境
サ	部活動が充実して行うことができる環境
シ	その他

【集計結果】

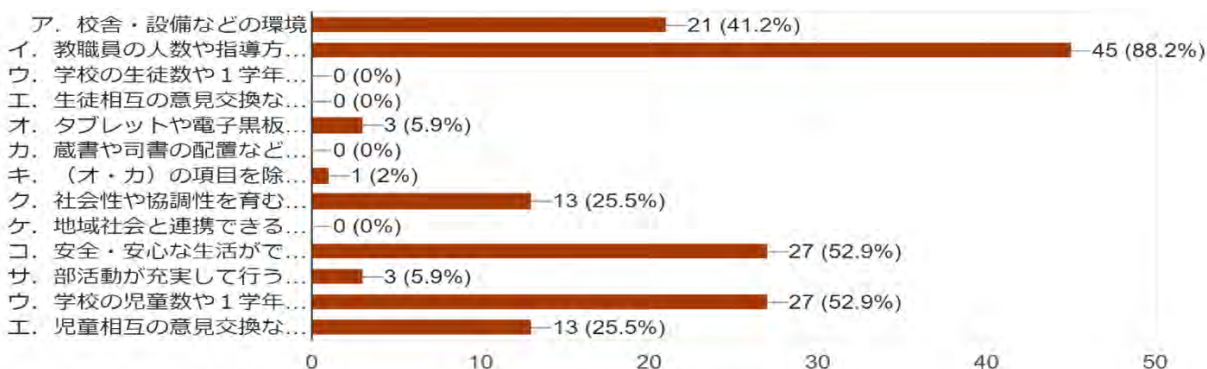
(単位 左:人 右:%)

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人	%	人	%	人	%
ア	167	31.0	21	41.2	2	15.4
イ	424	78.7	45	88.2	11	84.6
ウ	96	17.8	27	52.9	1	7.7
エ	156	28.9	13	25.5	6	46.2
オ	84	15.6	3	5.9	1	7.7
カ	8	1.5	0	0.0	0	0.0
キ	8	1.5	1	2.0	0	0.0
ク	218	40.4	13	25.5	5	38.5
ケ	25	4.6	0	0.0	2	15.4
コ	283	52.5	27	52.9	8	61.5
サ	119	22.1	3	5.9	3	23.1
シ	10	2.0	0	0.0	0	0.0
合計	1,598		153		39	

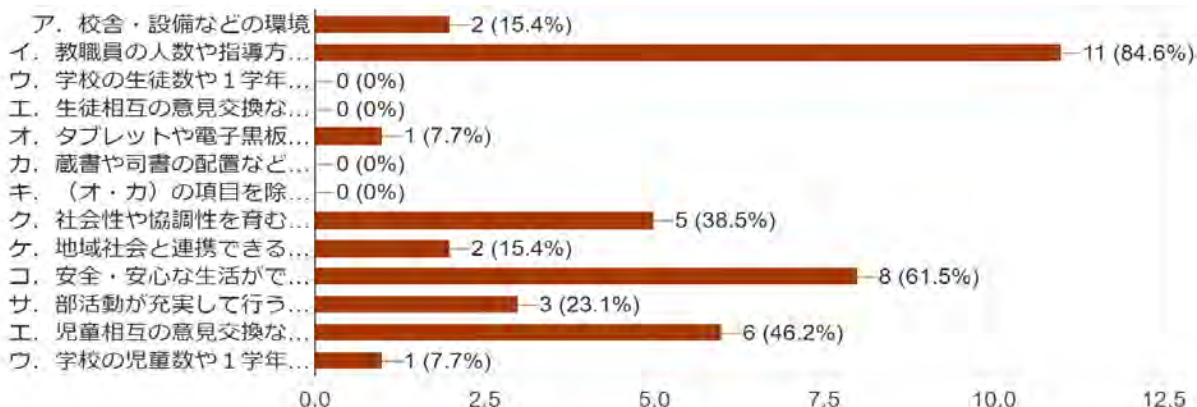
【保護者】



【教職員】



【運営協議会委員】



【概要】

「イ 教職員の人数や指導方法などの環境」が三者とも特に高い回答率である。次いで、「コ 安全・安心な生活ができる学校・学級の環境」が高く、また、「ウ」、「エ」、「ク」についても比較的高い傾向にある。

小学校アンケートの傾向も同様である。

設問2 学校の学級数・学級人数(適正規模)について

(1)中学校の学級数は、法令(※)では1学年あたり4～6学級(1学校あたり12～18学級)を標準としていますが、中学校教育を進めるうえでもっとも適切だと考える「1学年あたりの通常学級数」について次のア～カから1つ選んでください。

(※)学校教育法施行規則

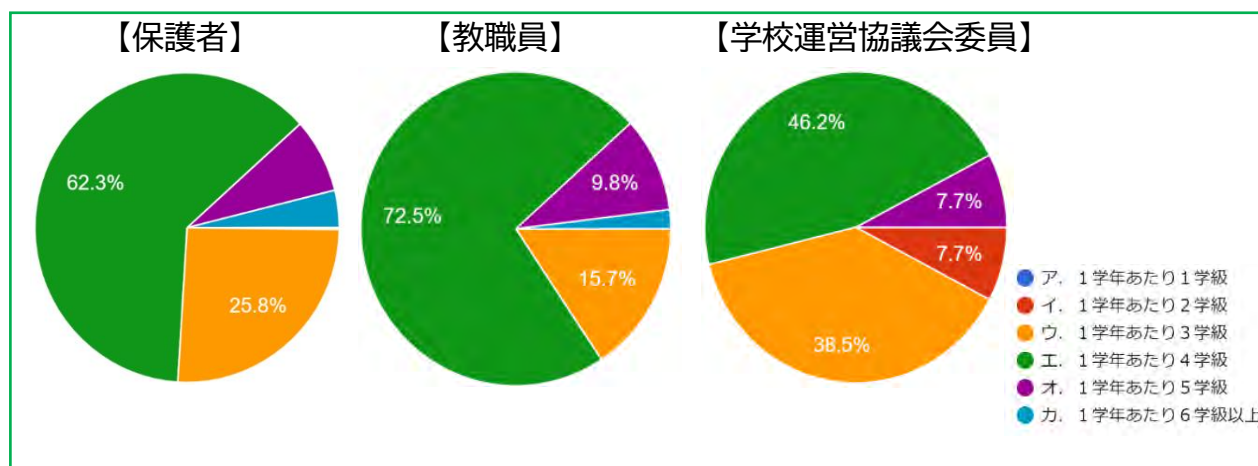
【選択肢】

ア 1学年あたり1学級	エ 1学年あたり4学級
イ 1学年あたり2学級	オ 1学年あたり5学級
ウ 1学年あたり3学級	カ 1学年あたり6学級以上

【集計結果】

(単位 左:人 右:%)

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人	%	人	%	人	%
ア	0	0.0	0	0.0	0	0.0
イ	1	0.2	0	0.0	1	7.7
ウ	139	25.8	8	15.7	5	38.5
エ	336	62.3	37	72.5	6	46.2
オ	42	7.8	5	9.8	1	7.7
カ	21	3.9	1	2.0	0	0.0
合計	539	100.0	51	100.0	13	100.0



【概要】

「エ 1学年あたり4学級」が、三者とももっとも適切であるという回答が多かった。次いで、「ウ 1学年あたり3学級」が多く、「オ 1学年あたり5学級」との回答も多かった。

小学校アンケートの傾向と異なり、中学校においては「ア 1学年あたり1学級」の回答はなく、「イ 1学年あたり2学級」と回答した人も少数である。

(2) 中学校の生徒数は、法令(※)では1学級40人を基準としていますが、中学校教育を進めるうえでもっとも適切だと考える「1学級あたりの生徒数」について、次のア～オから1つ選んでください。

(※)公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律
中学校設置基準(文部科学省令)

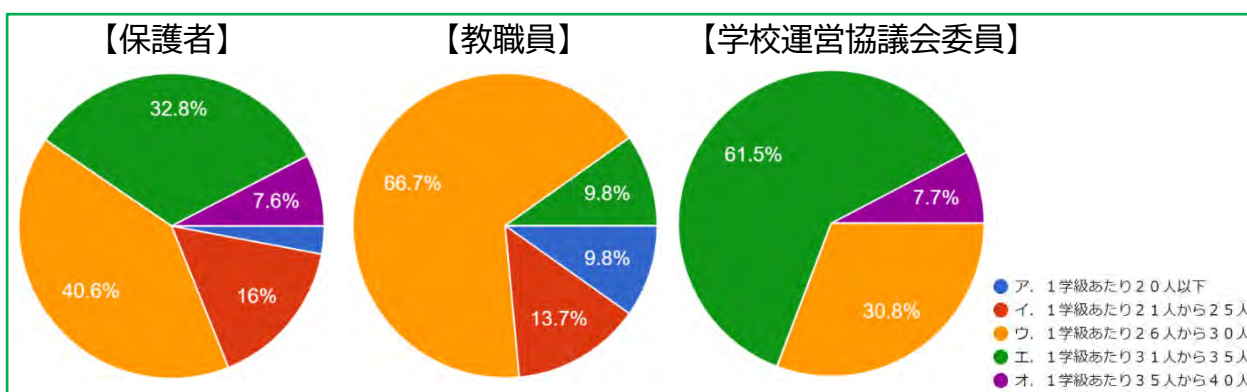
【選択肢】

ア	1学級あたり20人以下
イ	1学級あたり21人から25人
ウ	1学級あたり26人から30人
エ	1学級あたり31人から35人
オ	1学級あたり35人から40人

【集計結果】

(単位 左:人 右:%)

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人	%	人	%	人	%
ア	16	3.0	5	9.8	0	0.0
イ	86	16.0	7	13.7	0	0.0
ウ	219	40.6	34	66.7	4	30.8
エ	177	32.8	5	9.8	8	61.5
オ	41	7.6	0	0.0	1	7.7
合計	539	100.0	51	100.0	13	100.0



【概要】

「ウ 1学級あたり26人～30人」が、三者とももっとも適切であるという回答が多い。次いで、「エ 1学級あたり31人～35人」が多い。また、保護者、教職員は「イ 1学級あたり20人から25人」の回答も多い。

小学校アンケートと比較すると、全体的に1学級当たりの人数を多く回答している傾向にある。

設問3 児童生徒数・学級数の減少による影響について

(1)少子化に伴い、三芳町でも今後、児童生徒数、それに伴う学級数の減少が見込まれています。三芳町では、これらの減少による影響として、以下のア～シを想定しています。あなたは、以下のア～シの影響についてどのようにお考えですか。当てはまる欄を1つ選んでください。

【集計結果】

ア 仲間同士による意見交換などを通じた、多様な見方や考え方に触れる機会が少なくなる (単位 左:人 右:%)

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人	%	人	%	人	%
そう思う	139	25.8	13	25.5	3	23.1
やや思う	227	42.1	23	45.1	7	53.8
どちらともいえない	100	18.6	6	11.8	3	23.1
やや思わない	54	10.0	4	7.8	0	0.0
そう思わない	19	3.5	5	9.8	0	0.0

【概要】

三者とも「やや思う」の回答が一番多く、次いで「そう思う」の回答が多い。小学校アンケートの傾向と大きな差はない。

イ 教師の目が行き届きやすく、きめ細やかな指導が行いやすくなる

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人	%	人	%	人	%
そう思う	221	41.0	19	37.3	7	53.8
やや思う	226	41.9	19	37.3	6	46.2
どちらともいえない	69	12.8	7	13.6	0	0.0
やや思わない	15	2.8	3	5.9	0	0.0
そう思わない	8	1.5	3	5.9	0	0.0

【概要】

三者とも「そう思う」「やや思う」の回答が多数を占めている。小学校アンケートと比較すると「そう思う」より、「やや思う」の回答が多い傾向にある。

ウ クラス替えなどを通して、人間関係に変化を持たせることが難しくなる

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	220	40.8	28	54.9	2	15.4
やや思う	197	36.5	19	37.2	8	61.5
どちらともいえない	89	16.5	1	2.0	3	23.1
やや思わない	27	5.0	2	3.9	0	0.0
そう思わない	6	1.1	1	2.0	0	0.0

【概要】

「そう思う」、「やや思う」が多数を占めている。
小学校アンケートの傾向とも大きな差はない。

エ 学級数の減少により先生の数も減るため、チームティーチングや習熟度別学習などのきめ細やかな学習指導が難しくなる

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	124	23.0	28	54.9	3	23.1
やや思う	232	43.0	12	23.5	6	46.1
どちらともいえない	136	25.2	6	11.8	3	23.1
やや思わない	37	6.9	3	5.9	1	7.7
そう思わない	10	1.9	2	3.9	0	0.0

【概要】

三者とも同様の傾向が見られるが、実際に学習指導を行っている教職員については、「そう思う」「やや思う」の回答率が高い傾向にある。
小学校アンケートの傾向とも大きな差はない。

オ 保健体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じる

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	166	30.8	25	49.0	4	30.7
やや思う	229	42.5	18	35.3	6	46.2
どちらともいえない	99	18.4	3	5.9	2	15.4
やや思わない	34	6.3	5	9.8	1	7.7
そう思わない	11	2.0	0	0.0	0	0.0

【概要】

三者とも「やや思う」、「そう思う」が多数を占めており、比較的同様の傾向にある。
小学校アンケートと比較すると、教職員は「そう思う」の回答が多い。

カ 体育祭や合唱祭など、学校行事の盛り上がり欠ける

	保護者		教職員		運営協議会委員	
そう思う	217	40.3	19	37.2	7	53.8
やや思う	174	32.3	20	39.2	3	23.1
どちらともいえない	91	16.9	8	15.6	3	23.1
やや思わない	39	7.2	4	7.8	0	0.0
そう思わない	18	3.3	0	0.0	0	0.0

【概要】

三者とも「やや思う」、「そう思う」が多数を占めている。

小学校アンケートと比較すると、小学校教職員は「そう思わない」の回答も一定数あるが、中学校の教職員は「そう思わない」の回答がない。

キ 学校施設や教具が利用しやすくなる

	保護者		教職員		運営協議会委員	
そう思う	154	28.6	12	23.5	1	7.7
やや思う	229	42.5	27	52.9	12	92.3
どちらともいえない	134	24.9	10	19.6	0	0.0
やや思わない	17	3.1	2	3.9	0	0.0
そう思わない	5	0.9	0	0.0	0	0.0

【概要】

三者とも「やや思う」、「そう思う」が多数を占めている。

小学校アンケートの傾向とも大きな差はない。

ク 部活動の選択の幅が狭くなる

	保護者		教職員		運営協議会委員	
そう思う	289	53.6	23	45.1	8	61.5
やや思う	173	32.1	15	29.4	3	23.1
どちらともいえない	58	10.8	11	21.6	2	15.4
やや思わない	15	2.8	2	3.9	0	0.0
そう思わない	4	0.7	0	0.0	0	0.0

【概要】

三者とも「そう思う」、「やや思う」が多数を占めている。

小学校アンケート「ク クラブ活動の選択の幅が狭くなる」よりも「そう思う」の回答率が高い傾向にある。

ケ 進学の際に大きな集団への適応に困難を来す可能性がある

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	90	16.7	15	29.4	1	7.7
やや思う	189	35.0	19	37.3	5	38.4
どちらともいえない	183	34.0	9	17.6	6	46.2
やや思わない	55	10.2	6	11.8	1	7.7
そう思わない	22	4.1	2	3.9	0	0.0

【概要】

「やや思う」、「どちらともいえない」が多数を占めている。
 小学校アンケートと比較すると「そう思う」、「やや思う」の回答率が高い傾向にある。

コ 学級数の減少により先生の数も減るため、先生の役割や負担が増加する

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	141	26.1	33	64.7	7	53.8
やや思う	233	43.2	14	27.5	3	23.1
どちらともいえない	133	24.7	4	7.8	2	15.4
やや思わない	24	4.5	0	0.0	1	7.7
そう思わない	8	1.5	0	0.0	0	0.0

【概要】

三者とも同様の傾向が見られるが、実際に職務にあたっている教職員については、「そう思う」の回答率が高い傾向が見受けられる。
 小学校アンケートと比較すると全体的に「そう思う」、「やや思う」の回答率が高い傾向にある。

サ PTA 活動や地域の子ども会などの活動において、保護者の役割・負担が増加する

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	159	29.5	11	21.6	5	38.5
やや思う	209	38.8	21	41.1	7	53.8
どちらともいえない	129	23.9	14	27.5	1	7.7
やや思わない	31	5.8	5	9.8	0	0.0
そう思わない	11	2.0	0	0.0	0	0.0

【概要】

三者とも「やや思う」の回答が高い傾向が見られるが、保護者については、「そう思う」の回答率も高い傾向にある。
 小学校アンケートの傾向とも大きな差は見られない。

シ 保護者同士の交流機会が減少し、子育ての意見交換や情報を得ることが難しくなる

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	48	8.9	8	15.7	3	23.1
やや思う	159	29.5	19	37.3	4	30.7
どちらともいえない	223	41.4	18	35.3	6	46.2
やや思わない	82	15.2	4	7.8	0	0.0
そう思わない	27	5.0	2	3.9	0	0.0

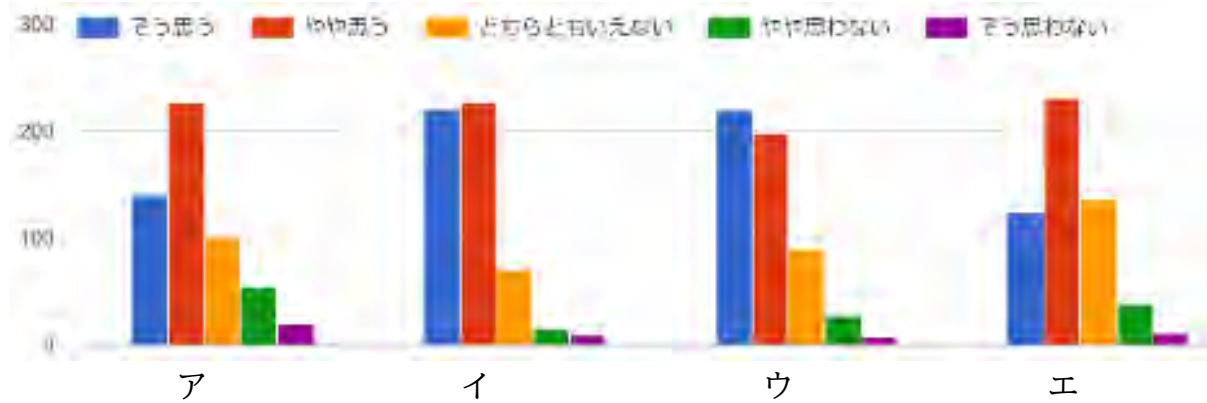
【概要】

三者とも「どちらともいえない」の回答率が高い傾向にある。次いで、「やや思う」の回答率が高い。

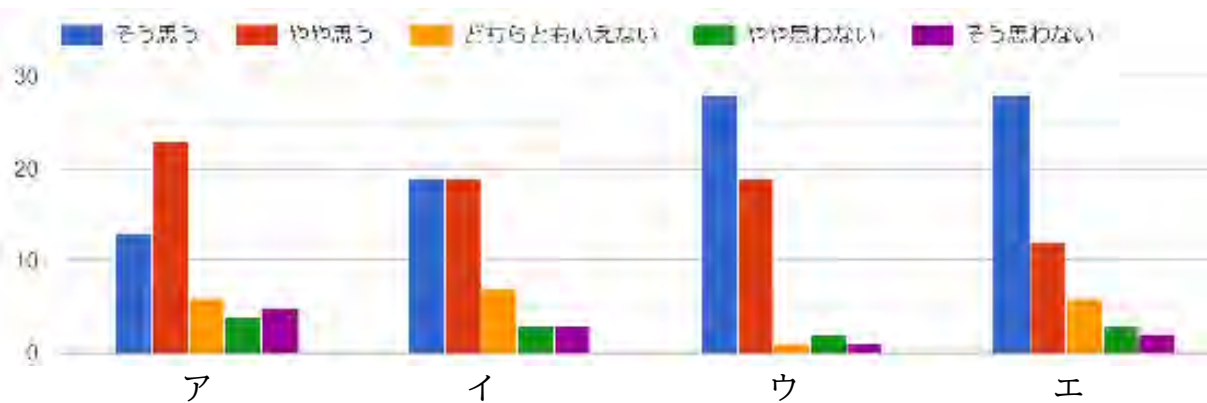
小学校アンケートと比較すると教職員は「そう思う」、「やや思う」の回答率が高い傾向にある。

【参考:グラフ】

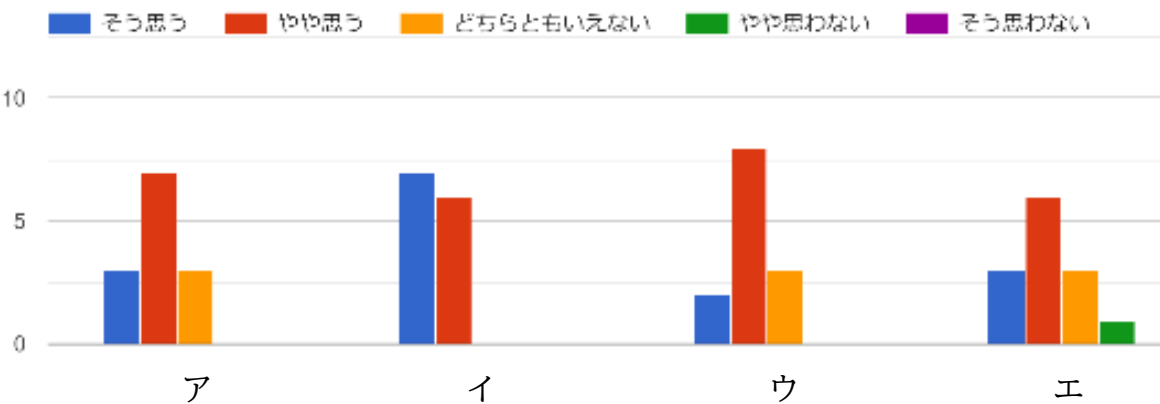
【保護者:ア～エ】



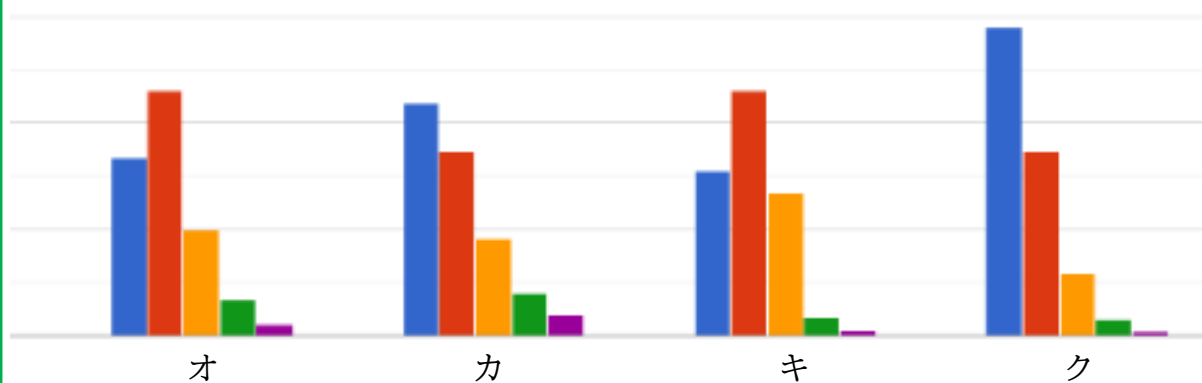
【教職員:ア～エ】



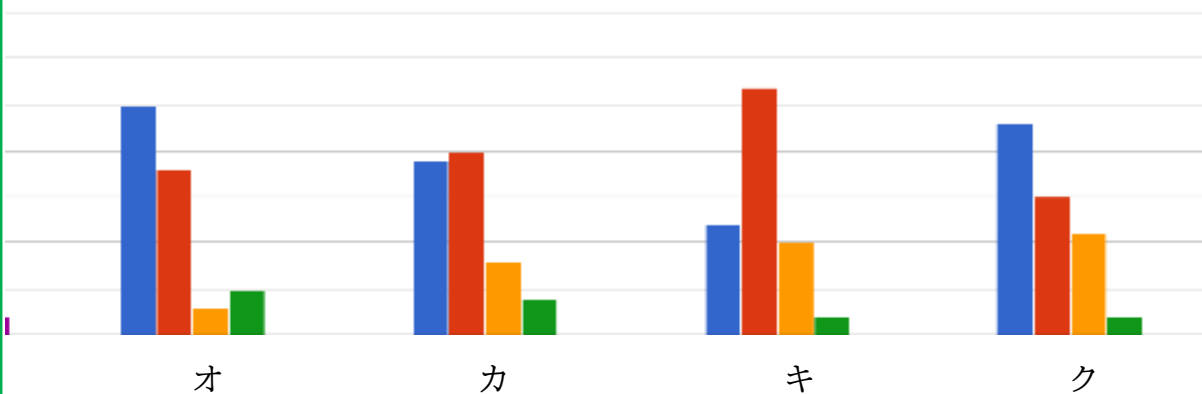
【学校運営協議会委員:ア～エ】



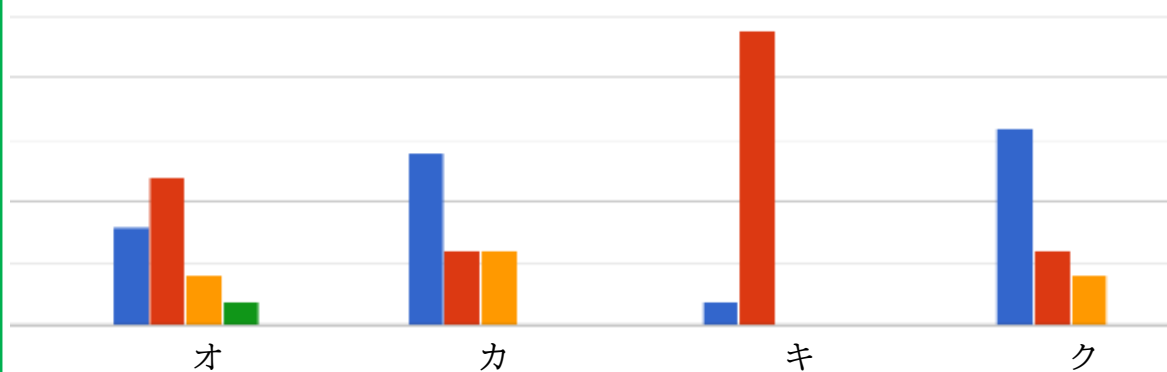
【保護者:オ～ク】



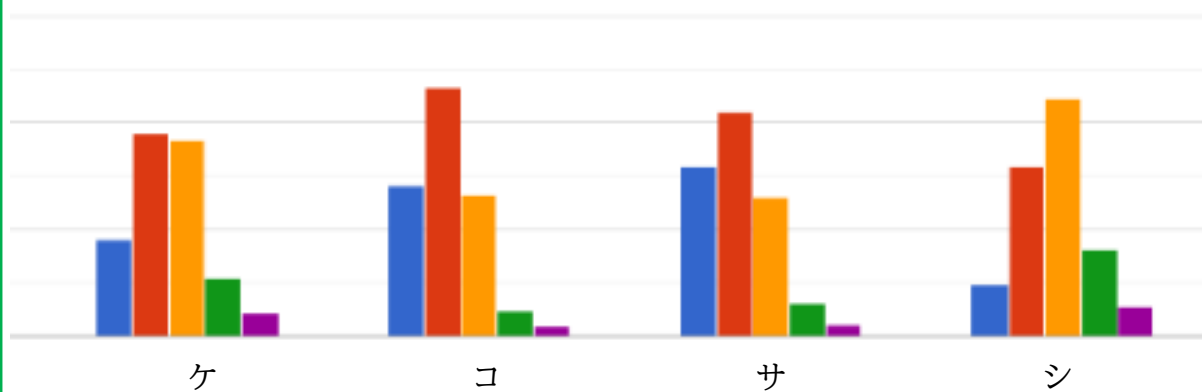
【教職員:オ～ク】



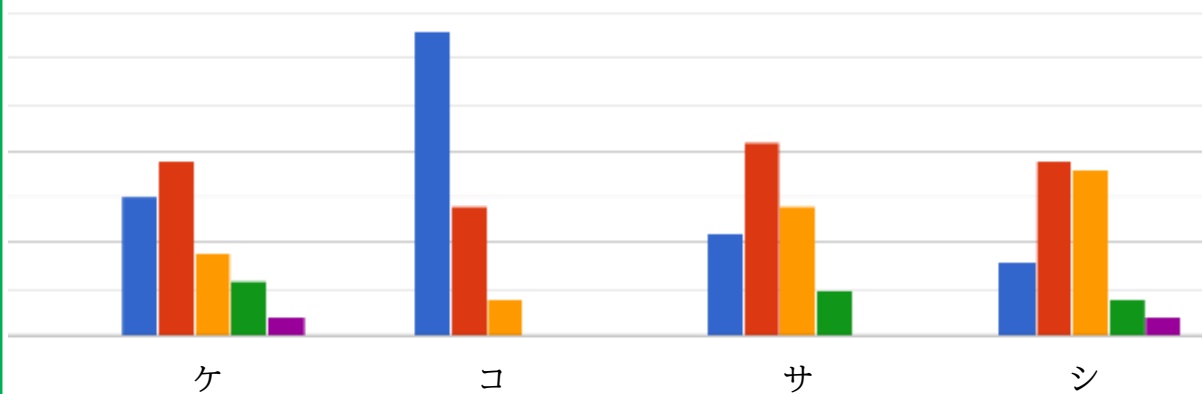
【学校運営協議会委員:オ～ク】



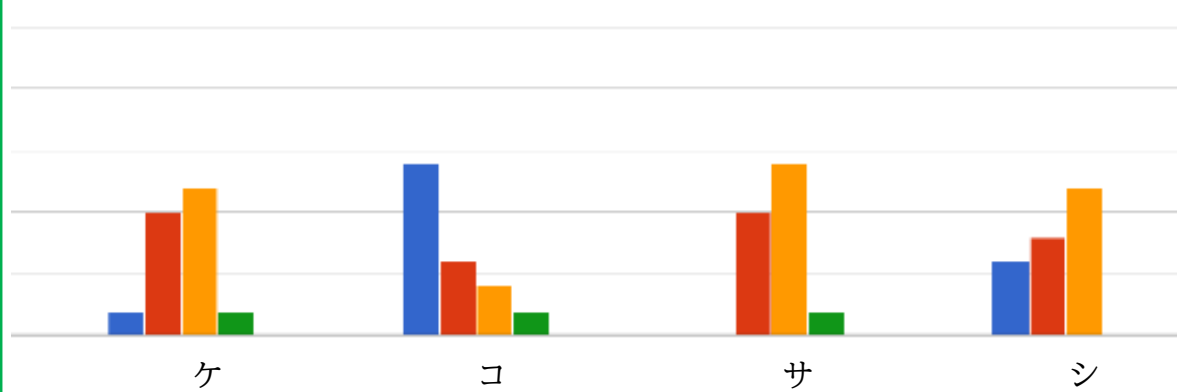
【保護者:ケ～シ】



【教職員:ケ～シ】



【学校運営協議会委員:ケ～シ】



設問4 通学距離・通学時間(適正配置)について

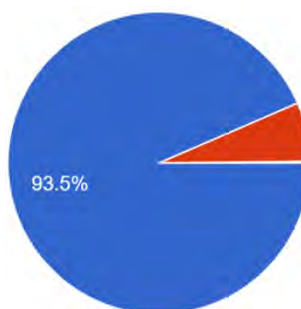
(1)お子さんは現在、どのような手段で通学していますか。次のア～ウから1つ選んでください。

【選択肢】

ア 徒歩
イ 自転車
ウ その他

【集計結果】 (単位 左:人 右:%)

	保護者	
ア	504	93.5
イ	34	6.3
ウ	1	0.2
合計	539	100.0



● ア. 徒歩
● イ. 自転車
● ウ. その他

【概要】

95%近くの生徒が徒歩で通学している。

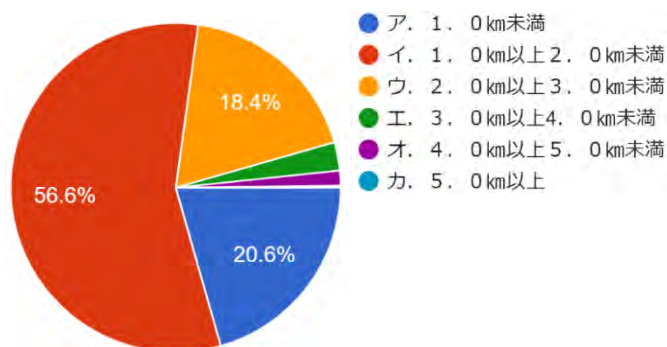
(2)お子さんの通学距離はおよそどのくらいの距離がありますか。次のア～カから1つ選んでください。

【選択肢】

ア	1.0km未満
イ	1.0km以上2.0km未満
ウ	2.0km以上3.0km未満
エ	3.0km以上4.0km未満
オ	4.0km以上5.0km未満
カ	5.0km以上

【集計結果】（単位 左:人 右:%）

	保護者	
ア	111	20.6
イ	305	56.6
ウ	99	18.4
エ	15	2.8
オ	8	1.5
カ	1	0.2
合計	539	100.0



【概要】

「イ 1.0km以上2.0km未満」の回答がもっとも多い。
通学距離が「3.0km未満」の生徒は90%程度である。

(3) 中学校の通学距離は、法令(※)ではおおむね6km以内としています。徒歩または自転車

で通学する場合、どの距離までが通学可能と考えられますか。次のア～キから1つ選んでください。

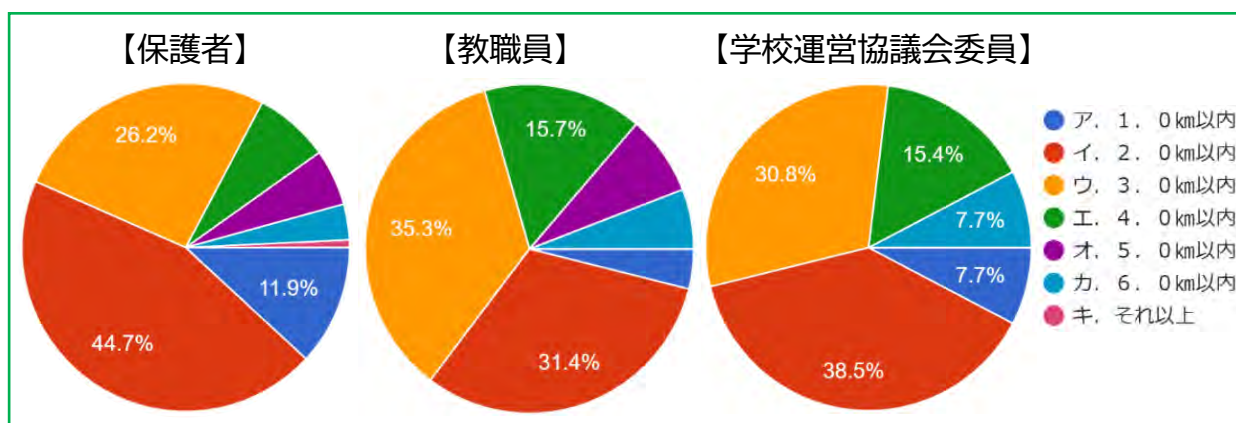
【選択肢】

ア 1.0km以内	オ 5.0km以内
イ 2.0km以内	カ 6.0km以内
ウ 3.0km以内	キ それ以上
エ 4.0km以内	

【集計結果】

(単位 左:人 右:%)

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人	%	人	%	人	%
ア	64	11.9	2	3.9	1	7.7
イ	241	44.7	16	31.4	5	38.5
ウ	141	26.2	18	35.3	4	30.8
エ	40	7.4	8	15.7	2	15.4
オ	30	5.6	4	7.8	0	0.0
カ	19	3.5	3	5.9	1	7.7
キ	4	0.7	0	0.0	0	0.0
合計	539	100.0	51	100.0	13	100.0



【概要】

三者とも「イ 2.0km以内」「ウ 3.0km以内」の回答が多くを占めている。保護者は「ア 1km以内」の回答率も高く、通学距離をなるべく短くしたい傾向がある。保護者の傾向は小学校アンケートにおいても同様である。

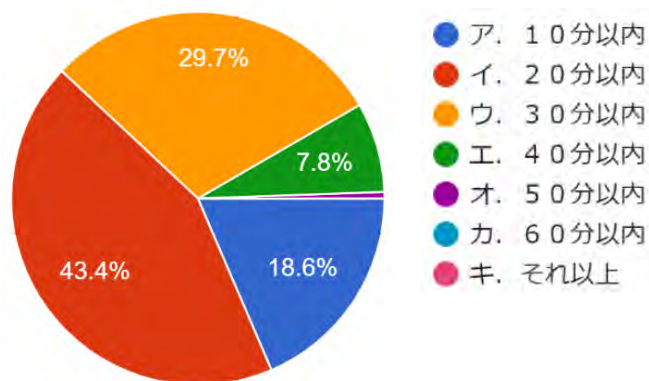
(4)お子さんの通学時間はおよそどのくらい時間がかかりますか。次のア～キから1つ選んでください。

【選択肢】

ア 10分以内
イ 20分以内
ウ 30分以内
エ 40分以内
オ 50分以内
カ 60分以内
キ それ以上

【集計結果】（単位 左:人 右:%）

	保護者	
ア	100	18.6
イ	234	43.4
ウ	160	29.7
エ	42	7.8
オ	3	0.6
カ	0	0.0
キ	0	0.0
合計	539	100.0



【概要】

「イ 20分以内」の回答がもっとも多い。
通学時間が「30分以内」の生徒は90%程度である。

(5) 中学校の通学時間は、法令(※)ではおおむね60分以内とされていますが、徒歩または自転車で通学する場合、どのくらいの時間までが通学可能と考えられますか。次のア～クから1つ選んでください。

(※)義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令

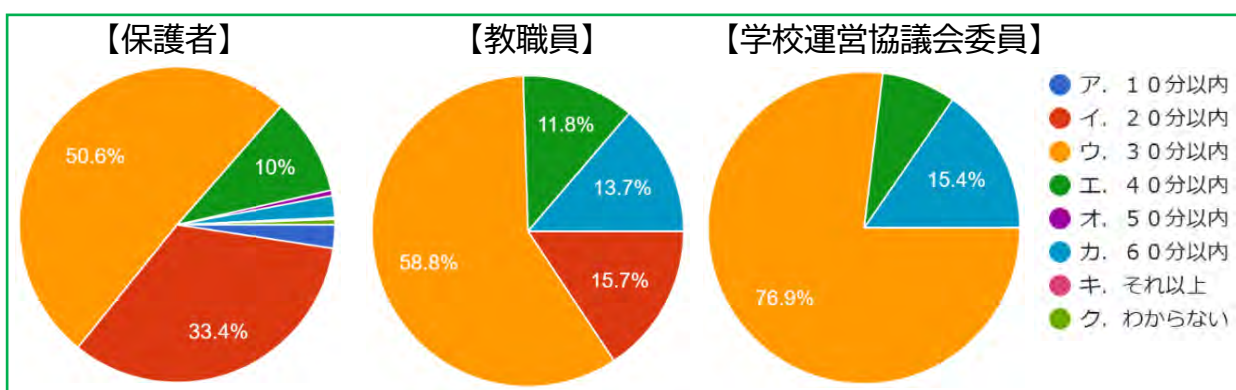
【選択肢】

ア 10分以内	オ 50分以内
イ 20分以内	カ 60分以内
ウ 30分以内	キ それ以上
エ 40分以内	ク わからない

【集計結果】

(単位 左:人 右:%)

	保護者		教職員		運営協議会委員	
	人	%	人	%	人	%
ア	13	2.4	0	0.0	0	0.0
イ	180	33.4	8	15.7	0	0.0
ウ	273	50.6	30	58.8	10	76.9
エ	54	10.0	6	11.8	1	7.7
オ	3	0.6	0	0.0	0	0.0
カ	12	2.2	7	13.7	2	15.4
キ	1	0.2	0	0.0	0	0.0
ク	3	0.6	0	0.0	0	0.0
合計	539	100.0	51	100.0	13	100.0



【概要】

三者とも「ウ 30分以内」の回答がもっとも多い。
小学校アンケートと比較すると、通学可能時間は長い傾向にある。

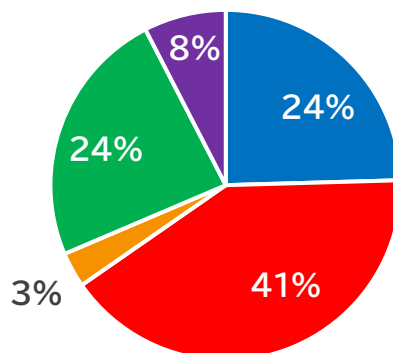
4 アンケートの集計結果について(児童生徒)

(基本情報について)

(1)児童生徒アンケート基本情報について

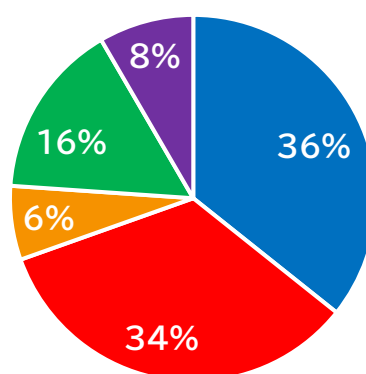
○あなたが通っている学校・学年を教えてください

学校	人数(人)
三芳小・3年	68
藤久保小・3年	113
上富小・3年	9
唐沢小・3年	66
竹間沢小・3年	21
計	277



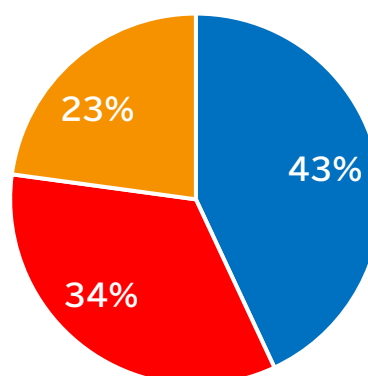
- 三芳小
- 藤久保小
- 上富小
- 唐沢小
- 竹間沢小

学校	人数(人)
三芳小・6年	115
藤久保小・6年	109
上富小・6年	21
唐沢小・6年	50
竹間沢小・6年	27
計	322



- 三芳小
- 藤久保小
- 上富小
- 唐沢小
- 竹間沢小

学校	人数(人)
三芳中・3年	130
三芳東中・3年	103
藤久保中・3年	69
計	302



- 三芳中
- 三芳東中
- 藤久保中

設問1 学校のクラス数・クラスの人数について

(1)1つの学年は何クラスあるとよいと思いますか。次のア～カから1つ選んでください。

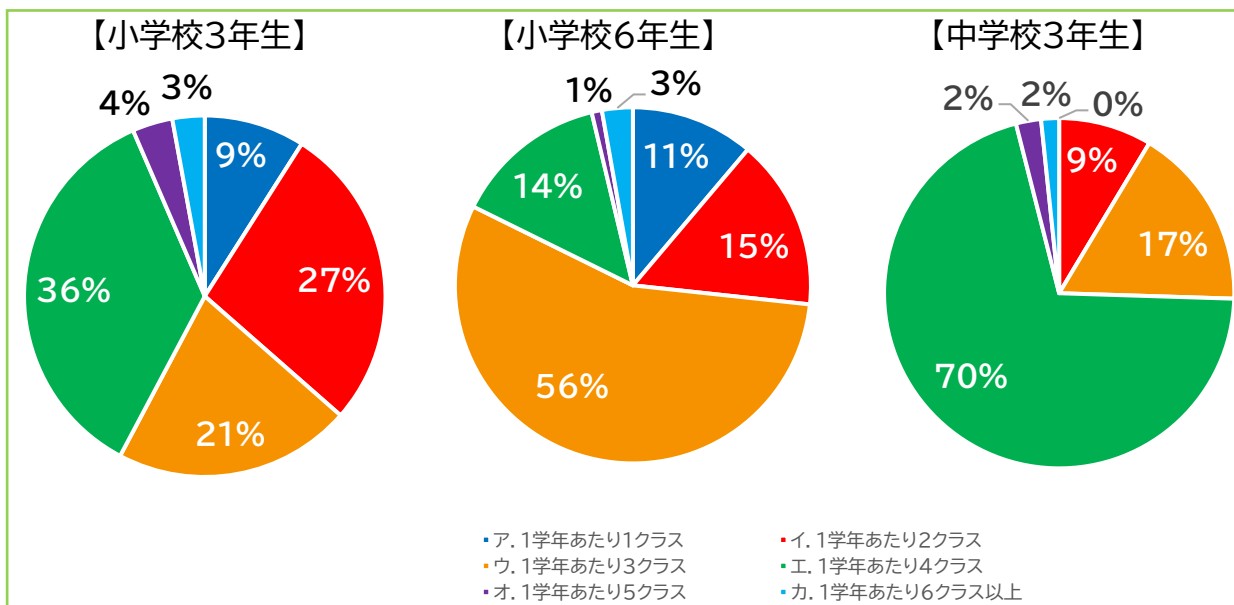
【選択肢】

ア 1学年あたり1クラス	エ 1学年あたり4クラス
イ 1学年あたり2クラス	オ 1学年あたり5クラス
ウ 1学年あたり3クラス	カ 1学年あたり6クラス以上

【集計結果】

(単位 左:人 右:%)

	小学校3年生		小学校6年生		中学校3年生	
ア	25	9.0	36	11.2	0	0.0
イ	76	27.4	50	15.5	26	8.6
ウ	59	21.3	179	55.6	51	16.9
エ	99	35.8	45	14.0	213	70.5
オ	10	3.6	3	0.9	7	2.3
カ	8	2.9	9	2.8	5	1.7
合計	277	100.0	322	100.0	302	100.0



【概要】

「イ 1学年あたり2クラス」、「ウ 1学年あたり3クラス」、「エ 1学年あたり4クラス」に回答が集中している。

小学校では「ア 1学年あたり1クラス」の回答も複数見られる。

中学校では「ア」の回答はなく、「エ」に回答が特に集中している。

(2)1クラスの人数は、何人いるとよいと思いますか。次のア～オから1つ選んでください。

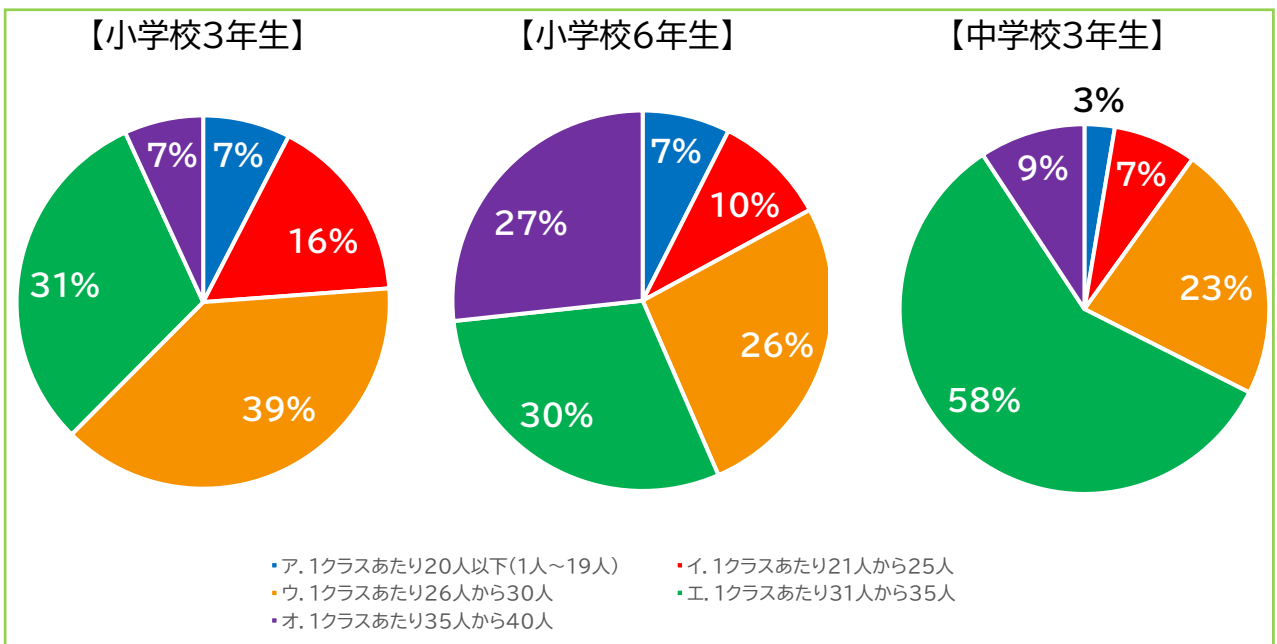
【選択肢】

ア 1学級あたり20人以下	エ 1学級あたり31人から35人
イ 1学級あたり21人から25人	オ 1学級あたり35人から40人
ウ 1学級あたり26人から30人	

【集計結果】

(単位 左:人 右:%)

	小学校3年生		小学校6年生		中学校3年生	
ア	21	7.6	24	7.5	8	2.6
イ	45	16.2	31	9.6	22	7.3
ウ	107	38.6	85	26.4	68	22.5
エ	85	30.7	96	29.8	176	58.3
オ	19	6.9	86	26.7	28	9.3
合計	277	100.0	322	100.0	302	100.0



【概要】

「ウ 1クラスあたり26人～30人」、「エ 1クラスあたり31人～35人」の回答が多いが、小学校6年生は「オ 1クラスあたり36人～40人」の回答も多く見られた。

保護者、教職員等へのアンケートと比較すると、より多い人数のクラスを回答している傾向にある。

設問2 通学時間について

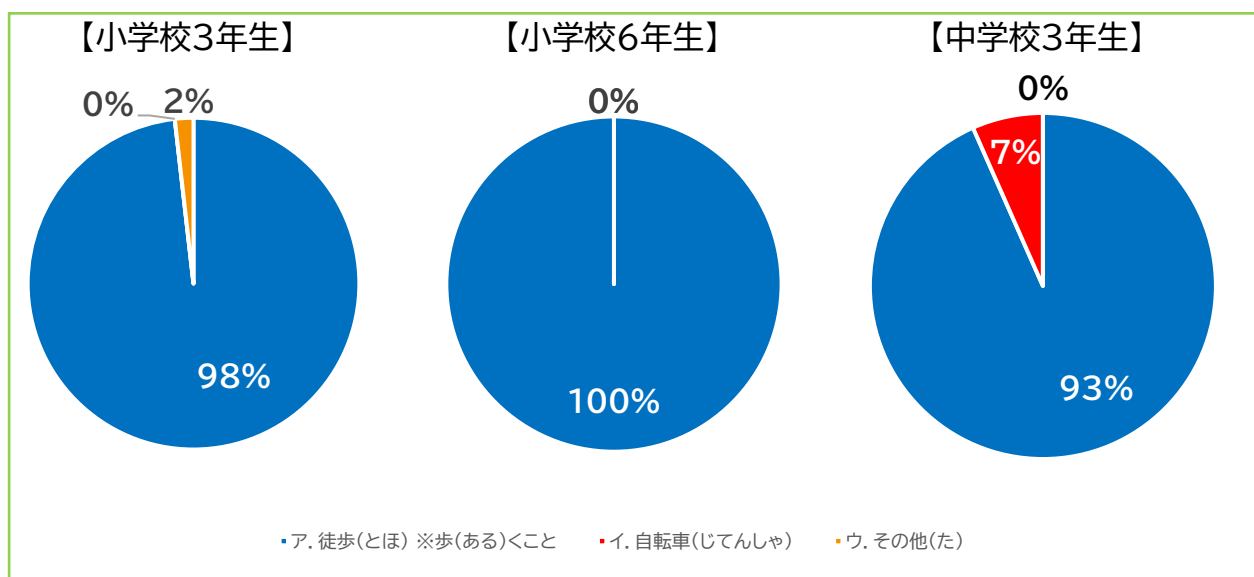
(1)あなたはふだんどのような手段で通学していますか。次のア～ウから1つ選んでください。

【選択肢】

ア 徒歩
イ 自転車
ウ その他

【集計結果】(単位 左:人 右:%)

	小学校3年生		小学校6年生		中学校3年生	
ア	272	98.2	322	100.0	282	93.4
イ	0	0.0	0	0.0	20	6.6
ウ	5	1.8	0	0.0	0	0.0
合計	277	100.0	322	100.0	302	100.0



【概要】

本町では多くの児童生徒が徒歩で通学している。

(2)あなたの通学時間はおよそどのくらい時間がかかりますか。次のア～キから1つ選んでください。

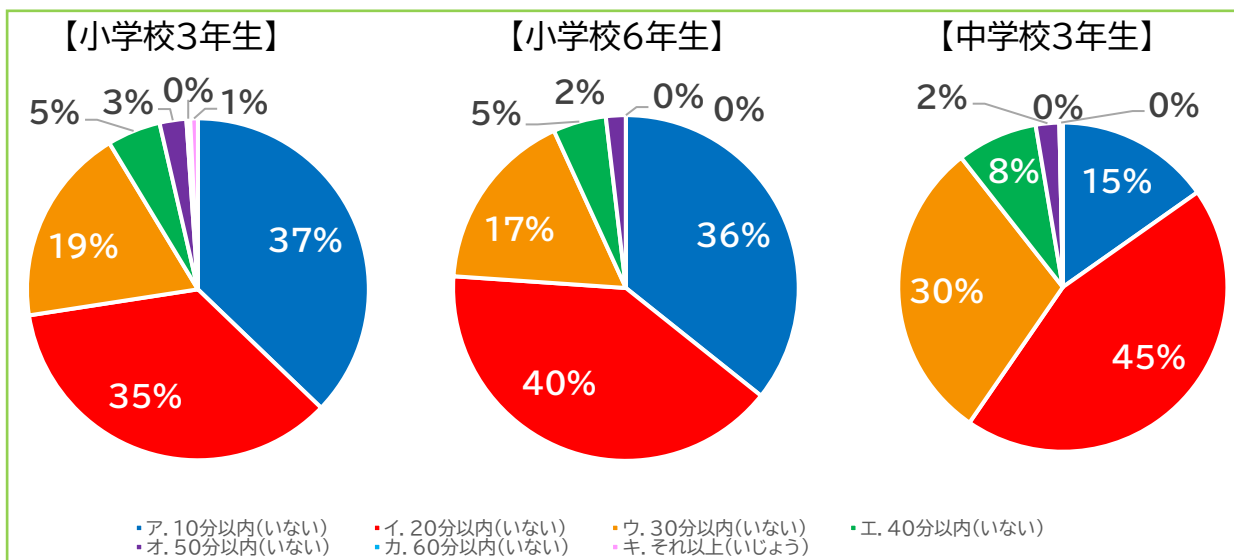
【選択肢】

ア 10分以内	オ 50分以内
イ 20分以内	カ 60分以内
ウ 30分以内	キ それ以上
エ 40分以内	

【集計結果】

(単位 左:人 右:%)

	小学校3年生		小学校6年生		中学校3年生	
ア	103	37.2	115	35.7	46	15.2
イ	98	35.4	130	40.3	134	44.4
ウ	52	18.8	55	17.1	90	29.8
エ	14	5.0	16	5.0	24	8.0
オ	7	2.5	6	1.9	7	2.3
カ	1	0.4	0	0.0	0	0.0
キ	2	0.7	0	0.0	1	0.3
合計	277	100.0	322	100.0	302	100.0



【傾向】

多くの児童生徒が30分以内に通学できている。小学生は「10分以内」、「20分以内」が多い。中学生は「30分以内」も多い。

(3)あなたが**心だんの通学手段で登下校する場合**、どのくらいの時間までなら通学できると思いますか。次のア～クから**1つ**選んでください。

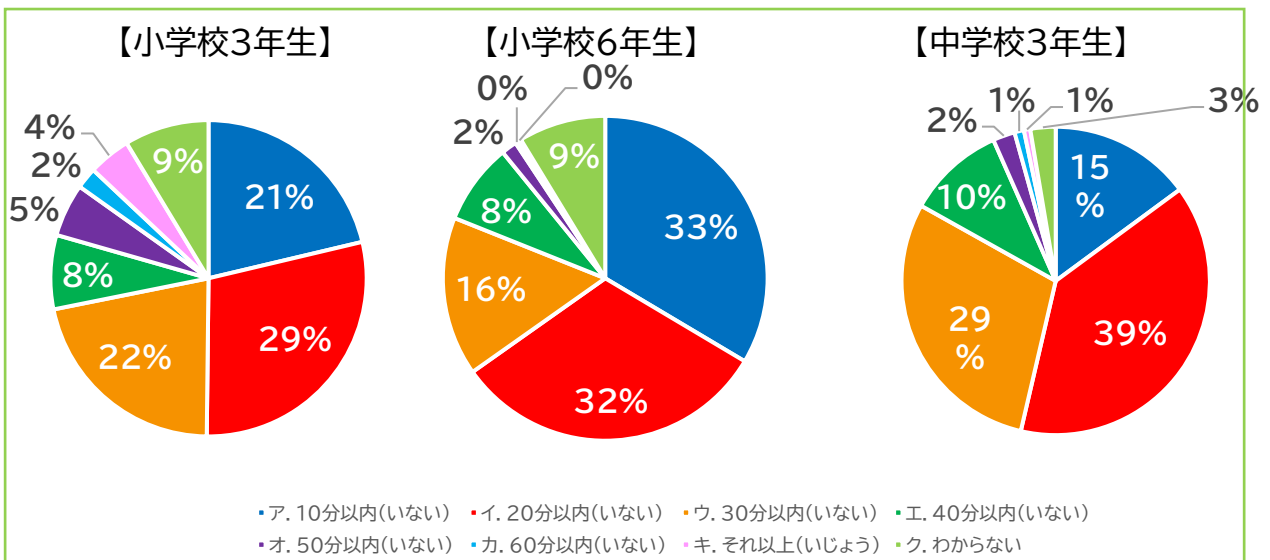
【選択肢】

ア 10分以内	オ 50分以内
イ 20分以内	カ 60分以内
ウ 30分以内	キ それ以上
エ 40分以内	ク わからない

【集計結果】

(単位 左:人 右:%)

	小学校3年生		小学校6年生		中学校3年生	
ア	59	21.3	108	33.6	45	14.9
イ	80	28.9	102	31.8	117	38.7
ウ	60	21.6	51	15.9	89	29.5
エ	21	7.6	26	8.1	31	10.3
オ	15	5.4	5	1.6	7	2.3
カ	6	2.2	1	0.1	3	1.0
キ	12	4.3	1	0.1	2	0.7
ク	24	8.7	28	8.8	8	2.6
合計	277	100.0	322	100.0	302	100.0



【概要】

多くの児童生徒は、10分以内、20分以内、30分以内が通学可能と回答している。小学生では「ク わからない」と回答する児童も一定数いる。

設問5 ご意見について(自由記述)

(1)三芳町では、将来を担う子どもたちにとって望ましい教育環境を整備するため、学校の適正規模・適正配置に関して調査、研究をしています。ご意見があればお聞かせください。

【小学校保護者教職員等】 ※適正規模適正配置に係る内容を一部抜粋して掲載

現在設定されている適正規模・適正配置は随分昔に制定されたものですので、学力・個を伸ばすということであれば、現在の適正規模・配置にこだわらず、三芳町らしい教育環境を整備していただけたらいいと思います。

統廃合となるとさらに遠くから、荷物も重いですし、毎日の通学が負担になるのでかわいそうだなと思います。

1年生が1学年 30 人は多いと思う。

現在 1 学年 4 クラス規模なのですが、ちょうど良いかと思います。

小学校の数を減らして、専用バスでの通学を検討することが必要ではないでしょうか。

コロナなどの環境を考慮しても人数は35人以下が良いかと思います。

通学に関しては距離が遠くなるほど事故のリスクが増えるため、安全面の整備が必要になると思う。

今後児童数が減少するなら、三芳町の小学校を統合した方がいかなと思います。その場合は、登下校時の安全の為 通学バスなどの利用を考えたらどうかと思います。

教室の広さなどを考えると、1クラス40人は多いように感じます。

また1年生に関しては、授業に集中できず席を立ってしまう子がいたり手がかかると思うので、1クラス20~25人くらいが適当なのではないかと思います。

コロナ禍も考慮して、クラスの人数を 30 人強を希望します。

子供の意見としては、通学の距離が遠すぎるので大変だということです。多少危険はありますが、自転車での通学を可能にしてほしいということです。

1学級の人数が定められているが、コロナ禍においては、40 人学級はかなり密であり、環境が悪いので、例外を設けて学級数を増やしていただきたいです。

登下校時の安全性の確保等は課題になると思う。

適正な人数については、色々な考えがあると思いますが、1クラスしかないのは、クラス替えもなく、寂しい気がします。

少人数は、学習中先生の目が行き届く等メリットもあると思いますが、運動会等のイベントの盛り上がりを見るとデメリットもあると思います。そういったイベントは、町内の小学校で合同にする等も良いのではと考えます。

また、通常学級でもあまりに人数が少なくなってしまうようなら、スクールバス等を運用して、ある程度切磋琢磨できる環境を確保していくのが良いのではないかと考えます。

あまりに生徒数が少ないと行事が盛り上がりなくなると思います。通学距離が遠くなりすぎるのは負担になるためスクールバスなどの配慮が必要になると思います。

学校の数が多いと思います。竹間沢小と唐沢小は、中学と一緒にになるので、竹間沢小は、学級が1クラスしかないので、廃校にすれば良いと思います。その分、校長も教頭、事務員等も減らせるので、子供の減少に合わせて、学校の数も減らせば良いと思います。

中学も藤久保中と三芳東中と一緒にすれば良いと思います。クラスが増えれば、体育祭も盛り上がります。

1学級の児童数が少なく、また、1クラスしかない場合、6年間ずっと一緒に過ごします。もし子供どうしで性格が合わない・トラブルが起きた際に環境が変えられることが出来ないので、心配があります。

「小学校の通学時間は、法令(※)ではおおむね60分以内として～」と記載されていますが、毎日60分登下校に時間がかかる児童のことを考えられていないと思います。…学校教材等のたくさんの荷物を持ち、登下校に60分かかる子がいたら本当に可哀想です。

学校から遠いところに住む児童への対策としては、学校までスクールバスを使うのが良いのではないかと思います。

小学生は、登下校の防犯を最重視して、登下校は10分前後がよい。

1クラスですと、いじめやトラブルがおおい子と離れたくても離れられず、非常に窮屈です。強い子ばかりがノビノビしています。

学校を統合させると通学距離が増えて特に低学年には負担が多いと感じます。でしたら、通学バスを出せば良いと思います。

1学級40人を基準としているとのことですが現代では多く感じます。25人前後のクラスが理想です。

小学生の間は、なるべく少人数クラスで先生の目が行き届く規模での環境が好ましいと考えております。学距離についても、安全面や、家庭学習やお稽古の時間の確保のためにも短い方が、子どもたちにとってプラスになると思います。

すでに1学年1クラスの時点で、近くの学校との統合を考えていいと思う。

遠い住まいの児童には、通学バスを使えばいいと思うし、学校を残すことよりも、子供の教育環境の統一感の方を優先したほうが、親としても、これから町の少子化を抑えていくためにも大事になると思う。

少子化に伴い、いずれ学校の等配合が行われることはやむを得ないと思いますが、子どもたちの安全を第一に考えて、スクールバスを出すなどの配慮をしてほしい。

うちの子どもは通学に30分かかり、夏は暑い中歩いて帰ってくるので熱中症など大変心配である。

三芳小と上富小は近いので、マイクロバスなどを利用し、統合して勉強を行ったほうが良いと思う。

35人学級となる方向で改善後進んでいると思うが、三芳町独自の基準を設けてより少ない人数の学級運営を検討することはできないかと思う。

教室内に生徒が多いので、もう少し学級の人数が少なくなれば良いなと思います。

藤久保中の立地場所が通学範囲より遠く、生徒さんは通うのが大変なのではないかと思います。自転車通学なども考慮すべきではないでしょうか？

児童数減少により、学校の統廃合は必要になると思います。登下校時の児童の安全確保のため、スクールバス導入も検討していただきたいです。

4年生～6年生も、35人以下のクラス編成で良いのではないかと？と思います。

1学年1クラスのみというのは親としては心配です。万が一いじめがあった際、逃げ場がなくなってしまう。クラスは2クラス以上が望ましいと思います。

<p>学校までの登校距離が長いと心配なので、統廃合はあまりしてほしくない。</p>
<p>1学年1クラスは心配です</p>
<p>少子化で、もしも上富小学校が存続されなかった場合、上富小学校区(上富1区)の子供が三芳小学校まで通うのは遠すぎると思います。通学バスの検討も必要ではないでしょうか。</p>
<p>小学校は徒歩 15 分程度なので問題はないかなと思っていますが、中学校になるとかなり遠くなるので(2.5km 位)疲れた部活後にその距離はキツイなと思います。しかも畑の中、危険が多いです。</p>
<p>少人数の環境で小中学生時代を過ごした身としては、小学校は先生方の各方面での指導の定着など少人数学級のメリットが大きいように思います。でも中学校ではある程度学校の規模が大きくないと、部活の選択肢がなく弱小だったり、先生が指導教科を掛け持ちしたり、進学して大きな集団に入る時に萎縮したり、規模の大きな他校への劣等感につながる要素が増えてしまったり、デメリットが大きくなるように思います。</p>
<p>1クラス40人では教室が狭いです。人数が多いと交流も多くなる場面が増えるかもしれませんが、トラブルも増えます。教職員等の目は行き届くのか疑問です。</p>
<p>三芳小、三芳中の学区ですがかなり遠いので上富以外ではありますが自転車通学を可能にして欲しいです。</p>
<p>安全に通学できる距離、安心して通える通学路で登園してもらいたいと考えております。</p>
<p>長距離の通学は低学年には辛く狭い通学路などもあるため色々と工夫が必要なのは検討されていると思います。</p>
<p>学校を統廃合するのであれば、スクールバスの運行は必要だと思います。危険な道を長い時間、子供だけで歩くよりも安全ではないでしょうか。</p>
<p>少子化に伴う学校の統廃合はある程度やむを得ないと思うが、通学下校の時間が極端に長くなるのは子供や学童の送り迎えをする保護者の負担増につながるため、配慮が必要だと思う。また、従来は通学路ではなかった道も通学路になる可能性があるため、歩道の整備も必要。</p>
<p>学級数については学級数が多くても、クラスの人数が30人以下であれば、格差なく指導が行き渡ると思うので気になりません。</p>
<p>整体師をしておりますが、成長期の子供達に背負わせる限度は 3 キロ位と考えております。</p>
<p>文科省の基準1学級 40 人までという人数の基準は多過ぎると思います。1 学級の人数の基準をもう少し減らしていただけると、先生の目も良く行き届き、手厚い指導を受けることができるのではないかと考えています。</p>
<p>小学校の間は35人学級のままでいいと思います。</p>
<p>1 学級あたり 30 人程度が教員の目が届きやすい人数なのではないでしょうか。</p>
<p>クラスの人数。1クラス、34人は多すぎる。</p> <p>懇談会でクラスに入ったが、机がぎっしり入っていて教室が狭く感じる。今の時代、密ではないのかと心配になる。クラスの人数が多いから、教師の目が行き届いているのか心配になる。</p>
<p>藤久保中学校が学区の外にあるのは不思議でならない。一番近い子でも徒歩 20 分、遠い子だと 40 分かかるといふ。真夏の登下校や夏休み中の部活の登下校など今までの常識では想像できないほどの命の危険がある暑さの時などは 水分補給を呼び掛けるだけでは不十分なような気がします。</p>

学校が遠い為、下校してからも宿題をやる時間を作るだけで精一杯。ともだちとの交流もはかれず、かわいそうに思います。整備の行き届いていない通学路を長距離使うことは不安です。それならば、近い学校に通えることが親としても子供の生活にもいいと思います。

1クラスしかなく20人以下や、40分以上の通学になってしまう場合、バス等を利用して通学するようにして小学校が合併するのが良いと思う。

クラス人数が少ない方が教師の目は行き届くと思うが、人数が多ければ色々な意見に触れ学ぶことは多い。

教員の数を維持して、1学級の人数を減らし、ひとりひとりの生徒に目の行き届いた教育を希望します。

クラスの人数が20人を下回っている事で、担任の目が行き届きやすいと思いました。授業参観では全員に個別の声かけをしても滞りなく授業が進み、少人数だからこそ集団としてのまとまりを感じました。また、2学級ある事で進級時に雰囲気に変化が出たり、新たな友人関係を築く機会がありました。

小学生の間は規模が小さい方が利点が多いと感じています。2学級あると理想的です。

1学年に1学級だと6年間同じメンバーで絆はふかまりますが、友人関係がマンネリ化して進歩しない上、進級しても新鮮味がない。

児童数が多いだけで様々な業務の増大があり、協力体制で行っていますが、負担軽減はなかなか難しく思います。学級数の上限が小学校が変わったことはとても大きなことですが、きめ細やかな指導は30人以下が理想と感じます。

教育の質を向上させるには、1クラスの人数は少なく、学級数や教員人数は減らさず、という体制が望ましいと考える

子どもたちの数が減ってきたとしても、教員の数はできるだけ減らさずに手厚く・きめ細やかな指導や教育が行えるようにしていきたいです。

1学級あたりの人数が30人を越えると、色々の活動にやりにくさを感じます。

児童数が少なく、教職員の数も少ない学校では、分掌も多く抱え出張も重なり厳しい状況です。高学年は、体も大きくなるのに、40人は教室に余裕がない現状です。また、学年が上がるにつれて学習も難しくなるため、よりよい教育環境を整えるため(きめ細かな指導)には、十分な教職員の人数か、児童の人数は20人程度が望ましいと思います。

きめ細かく支援ができるよう1学級あたりの児童数を25人位にする。

小学校に限って言えば、広い学区をカバーするために通学バスの使用も検討してもよいのではないだろうか。

1学級の人数について、4年以上は40人とのことですが、35人以下が望ましい。40人だと身体も大きくなるので、狭い感じがする。先生の目が届きづらいと思います。

【中学校保護者教職員等】 ※適正規模適正配置に係る内容を一部抜粋して掲載

通学についてですが、徒歩 30 分以上かかる距離であれば、自転車通学も可で良いのではないかと思います。

登校の方法として、徒歩だけになっているが、自転車はいいと思う。通学時間って短ければ短いほどいいです。

少子化が進んでいるなら学校を減らすべき。税金の無駄遣いです。学校縮小に伴い通学距離が増える子どもは自転車通学を認めるべき。

藤久保3区に住んでいます。中学校まで30分から40分徒歩でかかります。普段は少し遠いなと感じる程度ですが、何か災害があった時にすぐに行けないので不安に思っています。

藤久保中ですから、藤久保地内にあるといいな、と思っています。

中学校は自転車通学を可にして、学校数を減らしても良いのではとおもいます。

コロナ禍においても、教室の広さを考えると 40 人は適正な環境ではないと思います。教室を分けるか、人数を減らすなど、例外的措置が必要だと思います。

暑さ対策や、登下校時の安全確保のため、通学に 30 分以上かかる場合は、自転車通学の許可をしてほしい。

1 学年、1 クラス 35 人程度で 4 クラス(偶数クラス)だと、学校行事や校外学習を行う上でちょうど良い環境だと思います。

1 クラスの人数が多すぎると思います。コロナ禍なのに教室が密になり、狭いので荷物を置く所も限られて、子供達も活動しづらいそうです。先生方も一人で多くの生徒を見なければならず、負担が大きいのではないのでしょうか。

部活動の選択肢が狭くなり充実した学校生活が送れなくなっている。人間関係が限定的になりいじめ等の問題が起こり得る可能性が高くなっている。

上富小は例えば三芳小と合併して、かなり遠い場所にはスクールバスを運行するなどひとつかなと思います。中学生にとっては部活も重要なものと思いますので、ある程度の生徒数減少で活動や選択肢が狭まるのは残念です。

小学校は低学年および夏季の熱中症等を考慮し、徒歩で15分圏内ぐらいにあると良い。

通学バッグの重さや夏の熱中症の心配もあるので、一定の距離を超える家庭の生徒の自転車通学を許可して欲しいです。

藤久保中学校、子供の数が減少し学級数が少なすぎます。そしてひと学級の人数が上限ギリギリ(38~39人)すぎて、ひとクラスの人数が多すぎます。これでは先生の目が行き届きません。

生徒数が少ないことで、中学校での部活動の選択肢が少ないのが不満です。

大規模校、小規模校とそれぞれの良さがあると思いますが、三芳町の場合には、特に小学校において、その差が大きく、教育格差が懸念される。町内である程度バランスの取れた配置を検討する必要があると思います。

多様性を大事に教育活動をするためには、教師の人数を増やし、1クラスの人数を減らしていかなければならないと思います。

三芳町の道路が貧弱な為、徒歩や自転車の通学は危ないので通学バスを整備すべきだと思います。